

文化庁メ芸シンポ

美術・歴史・日本
自作を語るための歴史とは

2015年2月15日(日)13:00開始

国立新美術館3F講堂

(最初に表示してだしっぱにしておく用)

中ザワヒデキ パワポプレゼン

それでは始めます。三人でのトークに先立つ僕からのプレゼンテーションとして、なるべく短めにサクサク終わられればと思います。

中ザワヒデキです

改めまして中ザワヒデキと申します。中が漢字、ザワヒデキが片仮名です。

中ザワヒデキです

・ 美術家

肩書は美術家です。僕の美術家としての作品や活動をご存じの方も、そうでない方も、本日はよろしく願いいたします

中ザワヒデキです

- 美術家
- 『現代美術史日本篇 1945-2014』

昨年暮れに『現代美術史日本篇 1945-2014』という本を出しました。この本をすでにお読みいただいたという方も、ぜんぜんお読みではないという方も、本日はよろしくお願いたします。



バカCG 1990

美術家としてはこういった作品や、

最新作 2014



C= 0.0%	C=58.3%	C=87.5%	C=29.2%	C=75.0%
M=75.8%	M= 8.3%	M=66.7%	M=58.3%	M=20.8%
Y=62.5%	Y=29.2%	Y=16.7%	Y=45.8%	Y=95.8%
C=91.7%	C=33.3%	C=62.5%	C=16.7%	C=45.8%
M=45.8%	M=37.5%	M=83.3%	M=12.5%	M=70.8%
Y=58.3%	Y=67.5%	Y=75.0%	Y=20.8%	Y= 8.3%
C=79.2%	C= 4.2%	C=50.0%	C=95.8%	C= 20.8%
M= 0.0%	M=75.0%	M=50.0%	M=25.0%	M=100.0%
Y=33.3%	Y= 0.0%	Y=50.0%	Y=100.0%	Y= 66.7%
C=54.2%	C=83.3%	C=37.5%	C=66.7%	C= 8.3%
M=29.2%	M=87.5%	M=16.7%	M=62.5%	M=54.2%
Y=91.7%	Y=79.2%	Y=25.0%	Y=12.5%	Y=41.7%
C=25.0%	C=70.8%	C=12.5%	C=41.7%	C=100.0%
M=79.2%	M=41.7%	M=33.3%	M=91.7%	M= 4.2%
Y= 4.2%	Y=54.2%	Y=83.3%	Y=70.8%	Y= 37.5%

こういった作品を発表しています。



現代美術史日本篇
1945-2014

ART HISTORY: JAPAN
1945-2014

本の表紙です。2014年11月21日にアートダイバー社から刊行されました。

目次 Table of Contents	
序 本書の構成	3
序論 本書の構成	4
序論 本書の構成	4
序論 本書の構成	4
Chapter 1 1945-1954	シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況
14	シュルレアリスムと多様性 - 戦後美術の状況
Chapter 2 1955-1959	前衛 - 前衛、アヴァンギャルド
15	前衛 - 前衛、アヴァンギャルド
Chapter 3 1960-1963	反芸術 - 反芸術、アンチアート
16	反芸術 - 反芸術、アンチアート
Chapter 4 1964-1979	還元主義と多様性 - 戦後、戦後、戦後
17	還元主義と多様性 - 戦後、戦後、戦後
Chapter 5 1980-1984	前衛 - 前衛、アヴァンギャルド
18	前衛 - 前衛、アヴァンギャルド
Chapter 6 1985-1994	再現芸術 - 戦後、戦後、戦後
19	再現芸術 - 戦後、戦後、戦後

目次の1番目の見開きです。第1章は第二次大戦が終結した1945年から始まっていて、ほぼ時系列順に書かれています。

<p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性—海峽の境、エム・バウハウス、ハイダイレクト</p> <p>Mannerism & Diversity —Araf Rauf, Susannah Murray</p> <p>70 海峽文化の近代化 Modernization of Straits Culture 384</p> <p>71 近代美術、エム・バウハウス、海峽の境 Modernism, Bauhaus, Mannerism, The Straits 386</p> <p>72 海峽の境、ハイダイレクト、海峽 The Straits, Araf Rauf, Murray 390</p> <p>73 海峽の境とハイダイレクト The Straits, Araf Rauf, Murray 392</p> <p>74 ハイダイレクト、海峽の境、ハイダイレクト High Direct, Araf Rauf, Murray 394</p> <p>Chapter 8 2010-2014 搾取前衛—アフリカ大陸の植民地主義と近代美術</p> <p>Exploitive Avant-Garde —Susannah Murray, Araf Rauf</p> <p>80 二重国籍の近代美術家 Biculturalism and Modern Art 398</p> <p>81 近代美術の歴史と近代美術家 Modern Art and Modern Artists 402</p> <p>82 アフリカ大陸の植民地主義と近代美術 Colonialism and Modern Art 406</p> <p>83 アフリカ大陸の植民地主義と近代美術 Colonialism and Modern Art 410</p> <p>海峽の境、海峽の境とハイダイレクト The Straits, Araf Rauf, Murray 412</p> <p>海峽の境 The Straits 414</p> 	<p>本書の読み方：「循環史観」で読み解く現代美術史（序章—編者）</p> <p>Editor's Note —Reading Guide: Seeing the Contemporary Art History in 'Historic Recurrence'</p> <p>現代美術史、循環史観、ハイダイレクト、海峽の境</p> <p>This history of contemporary art history is written in a way that is both a guide to reading the book and a guide to reading the book.</p> <p>本書の読み方、循環史観、ハイダイレクト、海峽の境</p> <p>This history of contemporary art history is written in a way that is both a guide to reading the book and a guide to reading the book.</p> <p>本書の読み方、循環史観、ハイダイレクト、海峽の境</p> <p>This history of contemporary art history is written in a way that is both a guide to reading the book and a guide to reading the book.</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="692 531 785 608"> <p>序章 1995-2009 海峽の境とハイダイレクト</p> </td> <td data-bbox="792 531 885 608"> <p>第1章 1900s 近代美術の歴史</p> </td> <td data-bbox="892 531 985 608"> <p>第2章 1920-40s ハイダイレクト</p> </td> <td data-bbox="992 531 1099 608"> <p>第3章 1945-54 ハイダイレクトと多様性</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="692 614 785 691"> <p>第4章 1955-59 前衛</p> </td> <td data-bbox="792 614 885 691"> <p>第5章 1960-63 近代美術</p> </td> <td data-bbox="892 614 985 691"> <p>第6章 1964-79 近代美術と多様性</p> </td> <td data-bbox="992 614 1099 691"> <p>第7章 1980-84 ハイダイレクトと多様性</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="692 697 785 774"> <p>第8章 1985-84 近代美術</p> </td> <td data-bbox="792 697 885 774"> <p>第9章 1985-84 近代美術</p> </td> <td data-bbox="892 697 985 774"> <p>第10章 1995-2009 ハイダイレクトと多様性</p> </td> <td data-bbox="992 697 1099 774"> <p>第11章 2010-2014 搾取前衛</p> </td> </tr> </table>	<p>序章 1995-2009 海峽の境とハイダイレクト</p>	<p>第1章 1900s 近代美術の歴史</p>	<p>第2章 1920-40s ハイダイレクト</p>	<p>第3章 1945-54 ハイダイレクトと多様性</p>	<p>第4章 1955-59 前衛</p>	<p>第5章 1960-63 近代美術</p>	<p>第6章 1964-79 近代美術と多様性</p>	<p>第7章 1980-84 ハイダイレクトと多様性</p>	<p>第8章 1985-84 近代美術</p>	<p>第9章 1985-84 近代美術</p>	<p>第10章 1995-2009 ハイダイレクトと多様性</p>	<p>第11章 2010-2014 搾取前衛</p>
<p>序章 1995-2009 海峽の境とハイダイレクト</p>	<p>第1章 1900s 近代美術の歴史</p>	<p>第2章 1920-40s ハイダイレクト</p>	<p>第3章 1945-54 ハイダイレクトと多様性</p>										
<p>第4章 1955-59 前衛</p>	<p>第5章 1960-63 近代美術</p>	<p>第6章 1964-79 近代美術と多様性</p>	<p>第7章 1980-84 ハイダイレクトと多様性</p>										
<p>第8章 1985-84 近代美術</p>	<p>第9章 1985-84 近代美術</p>	<p>第10章 1995-2009 ハイダイレクトと多様性</p>	<p>第11章 2010-2014 搾取前衛</p>										

目次の2番目の見開きです。最後の第8章はこの本が出された2014年まで書かれています。右側のページは編集部が作成してくれたカラーページで、このカラーの表は、循環史観を表しています。循環史観とは簡単にいえば「歴史は繰り返す」といったようなことなのですが、第1章から第8章までの章の構成はこの循環史観の表に基づいており、それが、本書の二つ目の大きな特徴となっています。こういったことについてはあとでもう一回ご説明します。

文化庁メ芸シンポ

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

2015年2月15日(日)13:00開始

国立新美術館3F講堂

さて今日は、こういった場にシンポジウムでお招きいただいているわけですので、

想像力の共有地〈コモンズ〉

2017年2月13日(日) 会場：国立新美術館14階 講堂1→2階

文化庁メディア芸術連携推進事業の特別企画として、現代美術から大衆文化、マンガ・アニメーション
芸術から産業文化まで「両者の文化創成」を促すデジタル・コンテンツを牽引する中澤、大澤、室井の3人による
対談。この対談は、デジタル・コンテンツの創作をめぐり、著作権・特許権・権利の共有と創作の
関係、作品の流通から著作権の帰属まで、著作権・特許権・権利の共有と創作の
関係がテーマとなる。現代美術やメディア芸術の発展を促すための対談をぜひご堪能ください。

第1部 5:00-14:30 「美術・歴史・日本一自作を語るための歴史とは」

司会 中澤シズカ（美術家）
出演 大澤 隆雄（自由学院 / TOKYO TV）(作家)
モデレーター 室井 康（慶応義塾大学教授）



最新上映映画「美術と歴史の対話」日本上映映画「美術と歴史の対話」
対談の模様を収録したDVDも販売中。詳しくは下記のとおりお問い合わせください。

第2部 15:00-17:00 「メディアム（メディア）から見る多岐多岐の（批評）」

司会 大澤 隆雄（自由学院 / TOKYO TV）(作家)
出演 室井 康（慶応義塾大学教授）
モデレーター 中澤シズカ（美術家）

対談 大澤 隆雄（自由学院 / TOKYO TV）(作家)
室井 康（慶応義塾大学教授）



想像力の共有地 〈コモンズ〉

美術・歴史・日本一 自作を語るための 歴史とは

チラシを見てちょっと確認したいと思います。「想像力の共有地〈コモンズ〉」という枠組みの中の第1部として、「美術・歴史・日本一自作を語るための歴史とは」というタイトルとなっています。ちなみに出演は上から中ザワ、大澤、室井、(敬称省略)という順番に書かれていますが、写真は真ん中が中ザワ、左が大澤、右が室井、(敬称省略)という順番になっていますね。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」

第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」

会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家自身の視点で現代美術史を執筆した中ザワヒデキ氏の近著『現代美術史日本篇 1945 - 2014』から、その執筆の動機や自身が主張する「循環史観」と、2010年以降の日本の現代美術シーンを紹介する。美術家として活動をしながら「現在の自分の視点で歴史をつくる」という姿勢で果敢に現代美術史の見取り図を描いた中ザワ氏の活動を参照し、グローバル世界において自らを取り巻く歴史や文化にどのように向き合っていくのか、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。

歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつの切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

作家自身の視点で現代美術史を執筆した中ザワヒデキ氏の近著『現代美術史日本篇1945 - 2014』から、その執筆の動機や自身が主張する「循環史観」と、2010年以降の日本の現代美術シーンを紹介する。美術家として活動をしながら「現在の自分の視点で歴史をつくる」という姿勢で果敢に現代美術史の見取り図を描いた中ザワ氏の活動を参照し、グローバル世界において自らを取り巻く歴史や文化にどのように向き合っていくのか、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」

第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」

会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家自身の視点で現代美術史を執筆した中ザワヒデキ氏の近著『現代美術史日本篇 1945 - 2014』から、その執筆の動機や自身が主張する「循環史観」と、2010年以降の日本の現代美術シーンを紹介する。美術家として活動をしながら「現在の自分の視点で歴史をつくる」という姿勢で果敢に現代美術史の見取り図を描いた中ザワ氏の活動を参照し、グローバル世界において自らを取り巻く歴史や文化にどのように向き合っていくのか、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。

歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつの切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつの切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」
第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」
会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家自身の視点で現代美術史を語る『現代美術史日本篇 1945 - 2014』から、その執筆の動機や自身の視点から日本の現代美術シーンを紹介する。美術家として活動をしながら『現代美術史』という姿勢で果敢に現代美術史の見取り図を描いた中ザワ氏の視点から、歴史において自らを取り巻く歴史や文化にどのように向き合っていくのか、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。

歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつの切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

謝辞

ということですので、ここで、僕から謝辞を述べさせていただきます。まずは主催者の文化庁メディア芸術祭の実行委員会の方が、僕の著書をおもしろがってくださり、そこから問題意識を発展してくださったのだろうということがこのシンポジウムのそもそものきっかけですので、このように拙著を議論の切り口としてくださってありがとうございます！ということがまず一点。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」
第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」
会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家の「現代美術史日本篇 1945 - 2014」
か、日本の現代美術シーンを紹介
す、という姿勢で果敢に現代美術
史の、において自らを取り巻く歴史や文化
にどのよう、現代社会・美術・宗教など幅広い視点から論じていく。
歴史とは何か—？ 美術とは何か—？ 日本とは何か—？ 現在とは何か—？ 中ザワ氏の著書をひとつ
の切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、
現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

謝辞 謝辞

次に、畏れ多くも拙著を端緒とした議論に、もったいなくも「応答してくださる」という大澤真幸さん、ならびにもったいなくも「モデレーターの労をおとりくださる」という室井尚さんに、感謝申し上げます。ありがとうございます！のちほど宜敷お願いいたします。

第18回文化庁メディア芸術祭関連イベント テーマシンポジウム「想像力の共有地〈コモンズ〉」
第1部 13:00-14:30 「美術・歴史・日本—自作を語るための歴史とは」
会場：国立新美術館 [3階 講堂] (東京都港区六本木7-22-2) ※要事前申込

作家の「歴史とは何か？」(2014) 紹介
か 紹介
す 美術
史の 文化
にどのようにつなぐか、現代社会・美術・教育など幅広い
歴史とは何か？ 美術とは何か？ 日本とは何か？ 現在とは何か？ 中ザワ氏の著書をひとつ
の切り口として、文化や歴史に深い関心を持つ社会学者・大澤真幸氏から応答してもらうと共に、
現代美術、メディア芸術、これからの日本文化について全員で討議を行う。

謝辞 射舌 謝辞

さらには、この場にお立ち会いいただいております、このように大勢のご来場のかた
がた、みなさまに、大きな謝辞を捧げたいと思います。ありがとうございます！

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

ところでこのタイトルですけれども、少なくとも2つの意味で「ひどい！」と思っております。

美術 歴史 日本
自作を (笑) 史とは

いま、「ひどい！」と言いましたけれども、カッコ(笑い)カッコとじですのでね、慌てていま表示しましたが、その点は誤解なきよう宜しくお願いします。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

で、なにが酷いかというと、ひとつめは

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

美術・なかぐろ・歴史・なかぐろ・日本 というネーミングですね。これは誰しも榎木野衣の1998年の著作『日本・なかぐろ・現代・なかぐろ・美術』を思い出すというか、そのマネに見えると思うんです。まあ、日本の現代美術のことをちょっとでも知ってるようなひとなら誰しもという意味ですが。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

榎木野衣『日本・現代・美術』

ただまあこの二文字熟語を3つ並べてなかぐろを間に2つ入れるというスタイルは、榎木さんの著書以降流行ったというか、一般的になりましたよね。いろんな分野でエピソードを見た気がします。が、今回はほかならぬ榎木さんと同じ日本現代美術史の文脈で、榎木さんにことわりもなくタイトルにしているのが、ちょっとひどいかも(カッコ笑い)と思いました。

しかし逆にいえばわかりやすい。酷いものはたいていわかりやすいんです。たとえばこれを英訳すると

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

ART HISTORY JAPAN

ART HISTORY JAPAN となるんですよね。つまり僕のこのたびの著書の、英語タイトルとまったく同じになるんです。お気づきになりましたでしょうか。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

で、もう一つ、このタイトルでひどいと思うのは、

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

こちらですね。「自作を語るための歴史とは」のところ。これはいろいろな意味で本当に酷い(カッコ笑い)。

ちなみにこれらのタイトルは僕が発案したものではないです。ですが事前のやりとりで、「タイトルも含めてこれでいかがですか？」とメールで聞かれてまして、「問題ありません」と僕は答えてるんですよ。なので発案者を責めているわけでも、誰かを責めているわけでもけしてない。むしろ僕は、自分では絶対つけないだろうようなこのタイトルは、ともかくわかりやすく本質を衝いているとさえ思うのです。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(3) 美術家が書いた美術史書

ここで本書の3番目の大きな特徴の話になりますが、それは、この本が「美術家が書いた美術史書」だということです。僕は美術家であり、美術評論家でも美術史家でもありません。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

- (1) 和英バイリンガル
- (2) 循環史観
- (3) 美術家が書いた美術史書

いちおう先ほど述べたことの復習になりますが、本書の1番目の特徴は和英併記であるということ、2番目の特徴は循環史観でした。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(3) 美術家が書いた美術史書

3番目の特徴の話に戻りますが、普通には歴史は、当事者とは利害関係のないニュートラルな立場から書かれる「べき」ものであり、だからこそ、記述され定立された歴史は大勢からのコンセンサスを得られているという、ある意味普遍性を兼ね備えたものだという暗黙の了解があるわけです。たとえば、「歴史が証明する」みたいな言い回しがありますが、それは、歴史こそが中立で公正なものだということが前提されているわけですね。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

美術家が美術家として美術史を書く..... ×あり得ない!

(3) 美術家が書いた美術史書

なので美術家が美術家として美術史を書くなんてことは普通にはあり得ないわけです。もしあるとしたら、美術家はそのときだけ美術史家あるいは美術評論家となって、すなわち美術家としての自分がまったく出てこない美術史ならば、辛うじてあり得る。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

美術家が、自分が出てこない美術史を書く.....△辛うじてあり得る

(3) 美術家が書いた美術史書

実際ですね、去年の夏になりますがある高名なアーティストがツイッター上で「中ザワさんの美術史にはご自身が出てくる、それっておかしいですよ」「まあ、ご冗談なんじゃないかね」みたいにつぶやかれてバーッとリツイートが広まったことがあります。僕はツイッターであれブログであれネットではせいぜい指摘や独り言やダジャレにとどめて議論には深入りしないことにしているので、反論とかは特にしなかったのですが、ほんとうはこっちにもいろいろな角度から、いろいろ言いたいことがないわけではない。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

表現者としては、自分で自分を挙げられないようではダメ

(3) 美術家が書いた美術史書

たとえばですね、以前イラストレーターの吉田カツさんが「今年最も良かったと思う展覧会を挙げてください」との雑誌アンケートで、真っ先に自分の個展を挙げて、「自分でこう言えるようじゃなくちゃね」と自分でコメントしていたことがあったのですが、まったくその通りだと思えます。そのような時に自分を挙げられないようならば、ひと様に作品を見せたり売ったりする資格はないと思います。作品を見てくれた人にも買ってくれた人にも申し訳が立たない。学生に戻れってことになります。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

美術家が、自分が出てこない美術史を書く.....むしろダメ

(3) 美術家が書いた美術史書

あるいは、ある重要なイラストレーターが日本のイラストレーション史の編纂に関わって、とても面白くて有意義な本ができあがったのですが、僕から見たその本の不満は、その本にいっさいその書き手の彼の作品が出てこないことなんです。この本でイラストレーションを初めて学ぶ若者がいるかと思うと、いたたまれない気持ちになります。それは彼のために言ってるのではなく、日本のイラストレーション史にとって彼の不在が大きな損失だから。つまり美術に置き換えて言うと、美術家が、自分が出てこない美術史を書くのは、美術史としても、むしろダメなことがあるんじゃないか。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

歴史と作品の一体化

(3) 美術家が書いた美術史書

というのは、その彼の作品が歴史の必然とのリンクのうえでこそ成り立っているからなんですね。話はとびますが、日本の現代音楽でもそういうケースがあります。重鎮の作曲家の松平頼暁さんですが、彼も、現代音楽史の著作のある作曲家なんですね。しかも彼の場合は作風の変遷というのが彼の経歴上に如実に表れ、それがなおかつ現代音楽史の重要な動向とリンクしている。しかもそこでいう音楽史は、偶然の出来事を順番に並べた年表的なものではなく、理論と実作と必然がみつどもえになったストーリーとしての音楽史なのです。つまり歴史と作品は一体化している。もちろん、彼の音楽史の著作には彼自身の作品がたくさん出てきています。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

「私は、私の作品の最良の解説が美術史であるような作品を作っているつもりです。つまり自作品解説として、美術史を書くのです」

(3) 美術家が書いた美術史書

では翻って僕自身の場合はいかがでしょうか。僕自身も作風変遷を繰り返すタイプですが、ある場所にこう書いたことがあります。「私は、私の作品の最良の解説が美術史であるような作品を作っているつもりです。つまり自作品解説として、美術史を書くのです」。ちょっとまわりくどいですが、こういう言い回しであれば、最初に述べた普遍性とリンクする歴史の概念が、個人の創作と切り結ぶことができるわけです。で、ここまですが、僕からできるぎりぎりの言い回しになるわけですね。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

「私は、私の作品の最良の解説が美術史であるような作品を作っているつもりです。つまり自作品解説として、美術史を書くのです」

(3) 美術家が書いた美術史書

ところがさらにこれをつづめるとどうなるか。2文あるうちの前半を捨て去るとすると、後半しか残らなくなる。「自作品解説として、美術史を書く」ということはすなわち、

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

「私は、私の作品の最良の解説が美術史であるような作品を作っているつもりです。つまり自作品解説として、美術史を書くのです」

(3) 美術家が書いた美術史書

「自作を語るための歴史」ということになります。だからこのたびのタイトルは圧倒的に正しい！「よくも本当のことを言いやがったな」というようなことになります。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(3) 美術家が書いた美術史書

つまり先ほどの2文の前半がなくなったことで、普遍性とか必然とか理論とかいったことがすべて抜け落ちてしまう。で、残ったものは、自作をプロパガンダするという目的のためだけに矮小化された歴史であり、あるいは、歴史のふりをした牽強附会な解説がなければとても説得力を持ち得ない自作ということになります。つまり、自分の作品にとっても、大文字の歴史にとっても、二重の意味でこれは酷い言い回しなのです(カッコ笑い)。だけれども酷いがゆえに言い当てているものがあるのではないか。何を？

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

一億人いたら一億人全員が自作を語るための歴史を書く

(3) 美術家が書いた美術史書

歴史とはもともと権威との相関物ですが、民主主義体制に由来する歴史権威の失墜を言い当てているのではないか。

なぜなら民主主義とは、たとえば一億人いたら一億人全員が自作を語るための歴史を書くということだからです。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(2)循環史観

(3)美術家が書いた美術史書

いや、そうではないのではないか、もっと一定の理論があるのではないかというのが実は(2)循環史観であり、

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(1)日英併記

(2)循環史観

(3)美術家が書いた美術史書

あるいは権威の相対化ということをもっともよく表す形式として採用した(1)日英併記のスタイルです。たとえば第二次大戦前に行われた皇紀2600年祭はまさしくキリスト教世界と対峙するためにこそ日本史が創作された一例です。バイリンガルの僕の著書では常に日本史が世界史にさらされるわけですが、これは「現代美術史日本篇」という書名でも意図したことです。ちなみにここでは別の問題設定も立てられます。日本史が世界史にさらされるというベクトルではなく、世界史が日本史にさらされるというベクトルです。

美術・歴史・日本 自作を語るための歴史とは

(2)循環史観

というような話はおちほど大澤さんや室井さんとすればよいので、パワポプレゼンとしては、後は急ぎ足で循環史観を概観することにします。



もう一回先ほどの見開きに戻ります。右側のページは編集部が作成してくれた循環史観の表でした。本書の第1章から第8章までの構成は、この循環史観の表に基づいています。僕自身の言葉よりも、編集者の言葉のほうがわかりやすいので、右側9ページの「本書の読み方：「循環史観」で読み解く現代美術史（文責・編集部）」を音読します。

本書の読み方:「循環史観」で読み解く現代美術史(文責・編集部)

現代美術史は、「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを約30年周期で繰り返している

著者の中ザワは、現代美術史を「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを繰り返すといった循環史観でとらえています。「前衛」とは新しい表現を生み出そうとする表現主義的動向、「反芸術」とは表現自体を否定する現実否定的動向、「多様性」とは時代支配的なイズムが後退し、多様なイズムが乱立する、あるいはイズムなき快楽的な作品、マニエリスムの作品が台頭する時代を意味します。

以下の表は中ザワの循環史観によって分類された20世紀の日本現代美術史です。なお、本書は敗戦後(1945年)からスタートしており、循環史観のフェーズでいうと「多様性」の時代の途中から始まっていますが、本書では取り上げていない戦前の「前衛」→「反芸術」を含めると、20世紀に入ってから、このサイクルは3回転しています。

そして2010年以降、4回転目の「前衛」のフェーズに入ったというのが本書の立場です。

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
1910s 前衛 1910s 大正ロマン・前衛主義 (Pre-war Avant-Garde)	1920s 反芸術 1920s 大正ロマン後期・反芸術 (Post-war Anti-art)	1930-40s 多様性 1930-40s 戦時体制下の多様性 (War-time Diversity)
1955-59 前衛 戦後前衛・前衛主義 (Post-war Avant-Garde)	1960-63 反芸術 戦後反芸術・反芸術 (1960s Anti-art)	1945-54 多様性 戦後多様性 (Post-war Diversity)
1980-84 前衛 戦後前衛・前衛主義 (1980s Avant-Garde)	1985-94 反芸術 戦後反芸術・反芸術 (1980s Anti-art)	1964-79 多様性 戦後多様性 (1960s-70s Diversity)
2010-14 前衛 戦後前衛・前衛主義 (2010s Avant-Garde)		1995-2009 多様性 戦後多様性 (1990s-2000s Diversity)

現代美術史は、「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを約30年周期で繰り返している

著者の中ザワは、現代美術史を「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを繰り返すといった循環史観でとらえています。「前衛」とは新しい表現を生み出そうとする表現主義的動向、「反芸術」とは表現自体を否定する現実否定的動向、「多様性」とは時代支配的なイズムが後退し、多様なイズムが乱立する、あるいはイズムなき快楽的な作品、マニエリスムの作品が台頭する時代を意味します。

<p>前衛 Avant-Garde</p> <p>前史 A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Huzan Society and Koshitsu-za</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p> <p>前史 B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>前史 C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>
<p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Japan Graphic Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyutai</p>
<p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>		<p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>

ちょっとここで音読から離れます。この表をよく見てください。

左から右へ、上から下へと時代が進みます。

上の段のピンク→青→緑

次の段のピンク→青→緑

その次の段のピンク→青→緑

一番下のピンク

の順番です。

そしてピンクが前衛、青が反芸術、横長の緑が多様性です。

音読に戻ります。

本書の読み方:「循環史観」で読み解く現代美術史(文責・編集部)

現代美術史は、「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを約30年周期で繰り返している

著者の中ザワは、現代美術史を「前衛」→「反芸術」→「多様性」のサイクルを繰り返すといった循環史観でとらえています。「前衛」とは新しい表現を生み出そうとする表現主義的動向、「反芸術」とは表現自体を否定する現実否定的動向、「多様性」とは時代支配的なイデオロギイが後退し、多様なイデオロギイが乱立する、あるいはイデオロギイなき快楽的な作品、マニエリスムの作品が台頭する時代を意味します。

以下の表は中ザワの循環史観によって分類された20世紀の日本現代美術史です。なお、本書は敗戦後(1945年)からスタートしており、循環史観のフェーズでいうと「多様性」の時代の途中から始まっていますが、本書では取り上げていない戦前の「前衛」→「反芸術」を含めると、20世紀に入ってから、このサイクルは3回転しています。

そして2010年以降、4回転目の「前衛」のフェーズに入ったというのが本書の立場です。

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
戦前 1910s 大正ロマン・前衛主義 大塚雪村・岡村文子 (Pre-war Avant-Garde)	戦時 1920s 大正後期・戦時体制 大塚雪村・岡村文子 (War-time Anti-art)	戦時 1930-40s 戦時体制 大塚雪村・岡村文子 (War-time Diversity)
戦後 1955-59 前衛 大塚雪村・岡村文子 (Post-war Avant-Garde)	戦後 1960-63 反芸術 大塚雪村・岡村文子 (Post-war Anti-art)	戦後 1945-54 シュルレアリスムと多様性 大塚雪村・岡村文子 (Post-war Diversity)
戦後 1980-84 前衛 大塚雪村・岡村文子 (Post-war Avant-Garde)	戦後 1985-94 反芸術 大塚雪村・岡村文子 (Post-war Anti-art)	戦後 1964-79 現代主義と多様性 大塚雪村・岡村文子 (Modernism & Diversity)
戦後 2010-14 前衛 大塚雪村・岡村文子 (Post-war Avant-Garde)		戦後 1995-2009 マニエリスムと多様性 大塚雪村・岡村文子 (Mannerism & Diversity)

この表は中ザワの循環史観によって分類された20世紀の日本現代美術史です。

なお、本書は敗戦後(1945年)からスタートしており、循環史観のフェーズでいうと「多様性」の時代の途中から始まっていますが、本書では取り上げていない戦前の「前衛」→「反芸術」を含めると、20世紀に入ってから、このイクルは3回転しています。

そして2010年以降、4回転目の「前衛」のフェーズに入ったというのが本書の立場です。

<p>前衛 Avant-Garde</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p>	<p>多様性 Diversity</p>	
<p>前史 A 1910s History A ヒューザン会と草土社 Huzan Society and Koshitsu-sha</p>	<p>前史 B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>前史 C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>	<p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p>	
<p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>	
<p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>			

この表にもどります。章の構成がこの表に一致しています。すなわち、

<p>前衛 Avant-Garde</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p>	<p>多様性 Diversity</p>	
<p>歴史 A 1910s History A ヒューザン会と草土社 Huzar Society and Koshitsu-sha</p>	<p>歴史 B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>歴史 C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>	<p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p>	
<p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>	
<p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>			

第1章
シュルレアリスムと多様性

<p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン会と草土社 Huzar Society and Koshitsu-sha</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正前期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>
<p>Chapter 2 1953-59</p> <p>前衛 具比、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gaku, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Japan Graphic Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p>
<p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>		<p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>

第2章
前衛

<p>前衛 Avant-Garde</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p>	<p>多様性 Diversity</p>	
<p>歴史A 1910s History A ヒューザン会と草土社 Huzar Society and Koshitsu-sha</p>	<p>歴史B 1920s History B 大正期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>	<p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p>	
<p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphix Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>	
<p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>			

第3章 反芸術

<p>前衛 Avant-Garde</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p>	<p>多様性 Diversity</p>	
<p>歴史A 1910s History A ヒューザン社と草土社 Huzar Society and Koshitsu</p>	<p>歴史B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>	<p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 の源、概念派、美井博 Reductionism & Diversity Media, Conceptualism, Miya Hiroshi</p>	
<p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphix Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>	
<p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>			

第4章
還元主義と多様性

<p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Husei Society and Koso-tsu</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争前 Surrealism, Proletarian Art, War-Peering</p>
<p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック前衛 Trans-Avant-Garde 1980s Avant-Garde and Japanese Graphic</p>	<p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p>
<p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>		<p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>

第5章
脱前衛

<p>前衛 Avant-Garde</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p>	<p>多様性 Diversity</p>	
<p>歴史A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Huzan Society and Koshitsu-sha</p>	<p>歴史B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争前 Surrealism, Proletarian Art, War-Painting</p>	<p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p>	
<p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 言語ニューウェーブから 東京シミュレーションシアムへ Simulationism From a New Wave to Tokyo Simulation</p>	<p>Chapter 7 1995-2009 マネリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>	
<p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>			

第6章
再現芸術

<p>前衛 Avant-Garde</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p>	<p>多様性 Diversity</p>	
<p>歴史 A 1910s History A ヒューザン社と草土社 Huzar Society and Koshitsu</p>	<p>歴史 B 1920s History B 大正前期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>歴史 C 1930-40s History C シュルレアリスム、 プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>	<p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p>	
<p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphix Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから 東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 7 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マシクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Macro-Pop</p>	
<p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>			

第7章
マニエリスムと多様性

<p>前衛 Avant-Garde</p> <p>歴史A 1910s History A ヒューザン会と草土社 Huzar Society and Koshitsu-sha</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p> <p>歴史B 1920s History B 大正前期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>歴史C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争前 Surrealism, Proletarian Art, War-Painting</p> <p>Chapter 1 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Gutai, Kyushuha, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63 反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 4 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Biyinkan</p>
<p>Chapter 5 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphis Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94 再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 7 1995-2009 マネリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>
<p>Chapter 8 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-garde Expressionism & Anti-expressionism Before and After Fukushima</p>		

第8章
搾取前衛

ではこれから大急ぎでどんな作品があるのか、
目次にしたがって見ていきます。

ではこれから大急ぎでどんな作品があるのか、目次にしたがって見ていきます。

Chapter 1
シュルレアリスムと多様性
敗戦後の美術状況
Surrealism & Diversity
The State of the After (Japan in World War 1)

1a 画家の戦争責任問題 14
The Question of Artists' War Responsibility

1b ゴッホワリア・ピエンナーレへの参加
Participating in the Venice Biennale

1c 「重い手」、レアリスム論争、岡本太郎
"Heavy Hand," Realism Controversy, Taro Okamoto

1d ホプホルダー、瀧口修造と実験工房
Hopfinger, Closed Door, Shigeo Takaguchi and the Experimental Workshop

Japan in 1945
昭和二十年九月 二日、第二次世界大戦が終結。
September 1945. The government declares
unconditional surrender. The System collapses.

1945-1954

Chapter 1 1945-1954
シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

1a 美術家の戦争責任問題
1b ヴェネツィア・ピエンナーレへの参加
1c 「重い手」、レアリスム論争、岡本太郎
1d ルポルターージュ、密室、瀧口修造と実験工房

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒューズ・シュルレアリスム Husserl, Surrealism, and Futurism	歴史 1920s 本立美術院美術家連盟 Honcho Museum of Art and Artists' League	歴史 1930-40s シュルレアリスム フロイトの心理学、戦争畫 Surrealism, Freud's Psychology, War Paintings
Chapter 1955-59 前衛 瀧口、太郎、アノニマス・グループ Avant-Garde Shigeo Takaguchi, Taro Okamoto, Anonymous Group	Chapter 1960-63 反芸術 森山、アサノハ、イトナ、センシター Anti-Art Moriyama, Asano, Itona, Sensitivity	Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of the After (Japan in World War 1)
Chapter 1980-84 脱前衛 80年代のシュルレアリスムと多様性 日本がデフォルメ Trans-Avant-Garde The 1980s Surrealism and Diversity Japan's Deformation	Chapter 1985-94 再脱芸術 横濱ニューアーツ・センター 東京のシュルレアリスムと多様性 Surrealism Yokohama New Arts Center Tokyo Surrealism and Diversity	Chapter 1964-79 還元主義と多様性 4-09、渡辺美津子、森山 Reductionism & Diversity Hara, Watanabe, Mori
Chapter 2010-14 抑圧前衛 アノニマス美術家の表現と戦後 Epressive Avant-Garde Anonymous Artists' Expression and Postwar		Chapter 1995-2009 マネエリスムと多様性 藤村、エドワード・クラウツ、アイトロソフ Maneism & Diversity Fujiwara, Edwards, Kraut, Aitrosouf

Chapter 1 1945-1954
シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

(図版なし)

Chapter 1 1945-1954

シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

1a 美術家の戦争責任問題

1b ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加

1c 「重い手」、レアリスム論争、岡本太郎

1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

前期 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity	
歴史 1910s ヒュアザグロと超未来社 Hyoza Guro and Futurists	歴史 1920s 大正前期美術家運動 Taisho Movement of the Artists Group	歴史 1930-40s マルティン・グリム ワシントン・アート展、戦争画 Martin Grimmer, Art Exhibition, War Paintings	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術家運動会 Surrealism & Diversity Postwar Artists' Association
1955-59 前衛 展覧、丸山、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibition, Maruyama, Avant-Garde	1960-63 反芸術 丸山、アヴァンギャルド・センター Anti-Art Maruyama, Avant-Garde Center	1964-79 還元主義と多様性 4-09、現代美術、展覧会 Reductionism & Diversity 4-09, Contemporary Art, Exhibition	
1980-84 脱前衛 90年代アヴァンギャルドと 日本アヴァンギャルド展 Trans-Avant-Garde 90s Avant-Garde and Japan Avant-Garde Exhibition	1985-94 再芸術論 横倉、ニューアヴァンギャルド 横倉、ニューアヴァンギャルド展 Surrealism Yokoyama, Neo-Avant-Garde, Yokoyama, Neo-Avant-Garde Exhibition	1995-2009 マネリスムと多様性 横倉、ニューアヴァンギャルド、アートのトップ Manerism & Diversity Yokoyama, Neo-Avant-Garde, Art's Top	
2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術家連盟と 反芸術展 Oppressive Avant-Garde Avant-Garde Artists' Alliance and Anti-Art Exhibition			

1a 美術家の戦争責任問題



岡田謙三



東山魁夷

Chapter 1 1945-1954

シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

1a 美術家の戦争責任問題

1b **ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加**

1c 「重い手」、レアリスム論争、岡本太郎

1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>歴史 1910s ヒューマン主義と前衛 Humanism and Avant-Garde</p>	<p>歴史 1920s 大正前衛美術派運動 Taisho Avant-Garde Movement</p>	<p>歴史 1930-40s マルティン・グリム、フーシエ、アシュフォード、ダウ、ヘンリー、アシュフォード、ダウ、ヘンリー Martin Grimmer, Francis Huard, Henry Ashford, David Henry, Henry Ashford, David Henry</p>
<p>歴史 1955-59 前衛 歴史、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde History, Masses, and Avant-Garde</p>	<p>歴史 1960-63 反芸術 美術、パフォーマンス、アート・センター Anti-Art Art, Performance, and Art Center</p>	<p>歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術派運動 シュルレアリスムと多様性 戦後美術派運動 Surrealism and Diversity Postwar Avant-Garde Movement</p>
<p>歴史 1980-84 脱前衛 80年代のポストモダンと日本 Trans-Avant-Garde History, Postmodernism, and Japan</p>	<p>歴史 1985-94 再芸術論 構造主義、ポストモダン、新表現主義 Neo-Expressionism Structuralism, Postmodernism, and Neo-Expressionism</p>	<p>歴史 1964-79 還元主義と多様性 60年代、現代主義 Reductionism & Diversity History, Contemporary, and Modernism</p>
<p>歴史 2010-14 抑圧前衛 グローバル美術市場と表現主義 Expansive Avant-Garde Globalization of Art Market and Expressionism</p>		<p>歴史 1995-2009 マネリスムと多様性 現代美術、グローバルアート、アートの未来 Modernism & Diversity Contemporary Art, Global Art, and the Future of Art</p>

1b ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加



岡本太郎



鶴岡政男



阿部展也

Chapter 1 1945-1954

シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

- 1a 美術家の戦争責任問題
- 1b ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加
- 1c 「重い手」、リアリズム論争、岡本太郎
- 1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒューザン・ガード Huser-Guard and Beyond	歴史 1920s 本道美術家同盟 Honcho Meishu Ka no Kai (1921-1928)	歴史 1930-40s マニエリスム マニエリスム展覧会、東京展 Manierism Exhibition, Tokyo (1937-1940)
歴史 1955-59 前衛 展覧会、丸の内、7/21-26 Avant-Garde (1955)	歴史 1960-63 反芸術 展覧会、アサヒビル、10/1-7 Anti-Art (1960)	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術展覧会 (1945-1954)
歴史 1980-84 脱前衛 展覧会、アサヒビル、10/1-7 Trans-Avant-Garde (1980)	歴史 1985-94 再脱芸術 展覧会、アサヒビル、10/1-7 Re-Anti-Art (1985)	歴史 1964-79 還元主義と多様性 展覧会、丸の内、7/21-26 Reductionism & Diversity (1964)
歴史 2010-14 抑圧前衛 アサヒビル、10/1-7 Expressive Avant-Garde (2010)		歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 展覧会、アサヒビル、10/1-7 Manierism & Diversity (1995)

1c 「重い手」、リアリズム論争、岡本太郎



池田龍雄



利根山光人



桂ゆき



藤松博



芥川沙織



北代省三



石井茂雄



山口長男



瑛九



山口勝弘

Chapter 1 1945-1954

シュルレアリスムと多様性—敗戦後の美術状況

1a 美術家の戦争責任問題

1b ヴェネツィア・ビエンナーレへの参加

1c 「重い手」、リアリズム論争、岡本太郎

1d **ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房**

<p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1910s シュルレアリスムと多様性 Pictorial, Symbolic, and Figurative</p> <p>1955-59 前衛 展覧、丸根、7人のアーティスト Avant-Garde The Avant-Garde in Japan</p> <p>1980-84 脱前衛 1980年代のシュルレアリスムと多様性 Trans-Avant-Garde The Avant-Garde in Japan</p> <p>2010-14 押取前衛 アヴァンギャルドの再評価と多様性 Evasive Avant-Garde The Avant-Garde in Japan</p>	<p>反芸術 Anti-art</p> <p>1920s 本誌掲載作家の活動 The Avant-Garde in Japan</p> <p>1960-63 反芸術 本誌「アヴァンギャルド」の中心 Anti-Art The Avant-Garde in Japan</p> <p>1985-94 再脱芸術 展覧、丸根、7人のアーティスト Surrealism The Avant-Garde in Japan</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>1930-40s シュルレアリスム 7人のアーティスト、展覧 Surrealism The Avant-Garde in Japan</p> <p>1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術の状況 Surrealism & Diversity The Avant-Garde in Japan</p> <p>1964-79 還元主義と多様性 丸根、展覧、本誌 Reductionism & Diversity The Avant-Garde in Japan</p> <p>1995-2009 マネエリスムと多様性 丸根、展覧、本誌、アートの批評 Manierism & Diversity The Avant-Garde in Japan</p>
---	--	---

1d ルポルタージュ、密室、瀧口修造と実験工房

Chapter 2
前衛
具体、九州派、アンフォルメル
Avant-Garde
(Gaku, Kyushu-ha, An Informel)

2a 具体 14
Gutai

2b 九州派 26
Kyushu-ha

2c 前衛と地方性
Avant-Garde and locality 28

2d アンフォルメルと多様性
Art Informel and Diversity 33

2e アンフォルメルと東洋
Art Informel and the East 33

Japan in 1955
1955年11月 開催 1956年 発行
January 1955 Publication of the Central Board

Chapter 2 1955-1959
前衛—具体、九州派、アンフォルメル

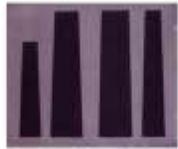
2a 具体
2b 九州派
2c 前衛と地方性
2d アンフォルメル旋風
2e アンフォルメルと東洋

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>Chapter 1 1910s 具体の出現と草創期 Emergence and Pioneering</p> <p>Chapter 2 1955-59 前衛 具体の出現、アンフォルメル Art Informel</p> <p>Chapter 3 1980-84 脱前衛 1980年代のアンフォルメルと 日本がアート界へ Trans-Avant-Garde The Japanese Art World</p> <p>Chapter 4 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの表現と 芸術的立場 Oppressive Avant-Garde Expression of Avant-Garde Artistic Stance</p>	<p>Chapter 1 1920s 大正前期の反芸術運動 Pre-war Movement of Anti-Artists (Pioneering)</p> <p>Chapter 2 1960-63 反芸術 具体 / アヴァンギャルド / フォト / センサー Anti-Art The 1960s Avant-Garde (Pioneering)</p> <p>Chapter 3 1985-94 再脱芸術 構造主義 / フォーティズム / 解像主義 / シンクレティック / シニフィカリズム Re-Avant-Garde The 1980s Avant-Garde</p>	<p>Chapter 1 1930-40s マルクス主義、 プロレタリア美術、戦時美術 Marxism, Proletarian Art, War Art</p> <p>Chapter 2 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術の表現と位置 Surrealism & Diversity The Post-war Artistic Stance in Shikoku Prefecture</p> <p>Chapter 3 1964-79 還元主義と多様性 4-09、概念主義、異文化 Reductionism & Diversity Formalism, Conceptualism, Diversity</p> <p>Chapter 4 1995-2009 マネエリスムと多様性 戦後美術、ニュー・フュージョン、アートのアップデート Modernism & Diversity The Post-war Artistic Stance</p>

Chapter 2 1955-1959
前衛—具体、九州派、アンフォルメル



嶋本昭三



金山明



村上三郎

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体

2b 九州派

2c 前衛と地方性

2d アンフォルメル旋風

2e アンフォルメルと東洋

田中敦子



白髪一雄

元永定正



前衛 Avant-garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒュアザン派と超主観 Hyuazansha and Super-objective	歴史 1920s 大正前衛派具体運動 Taisho Avant-garde and Concrete Movement	歴史 1930-40s マニエリスム、 フォルムレス主義、具体派 Mannerism, Formlessness, Concrete School
Chapter 1955-59 前衛 具体、具体派、アンフォルメル Concrete, Concrete School, Informel	Chapter 1960-63 反芸術 具体、反具体、反アンフォルメル Concrete, Anti-concrete, Anti-informel	Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 Surrealism and Diversity 具体派の多様性 Diversity of Concrete School
Chapter 1980-84 脱前衛 90年代のポストモダニズムと 日本がポストモダニズム Post-avant-garde 1990s Postmodernism and Japan's Postmodernism	Chapter 1985-94 再誕芸術 具体のニューウェーブと 具体のニューウェーブと Concrete's New Wave and Concrete's New Wave	Chapter 1964-79 還元主義と多様性 4-09、還元主義、具体派 Reductionism & Diversity 4-09, Reductionism, Concrete School
Chapter 2010-14 抑圧前衛 アラビアの抑圧前衛と 抑圧前衛 Oppressed Avant-garde Arab Oppressed Avant-garde and Oppressed Avant-garde		Chapter 1995-2009 マニエリスムと多様性 具体派、ニューウェーブ、ポストモダニズム Mannerism & Diversity Concrete School, New Wave, Postmodernism

2a 具体



菊畑茂久馬

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体

2b 九州派

2c 前衛と地方性

2d アンフォルメル旋風

2e アンフォルメルと東洋

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity	
歴史 1910s ヒューズバインと具体派 Huzar, Babin, and Concrete	歴史 1920s 大正前期具体派運動 Meiji Period Concrete Movement	歴史 1930-40s マニエリスム、 フォルシエ主義、具体派 Surrealism, Formalism, AI, Concrete	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 具体派の復興と反 Surrealism & Diversity The Rise of Concrete, Formalism & Anti-art
歴史 1955-59 前衛 具体、具体派、アンフォルメル Concrete, Concrete Group, Anti-Form	歴史 1960-63 反芸術 具体、具体派、アンフォルメル Concrete, Concrete Group, Anti-Form	歴史 1964-79 還元主義と多様性 具体派、具体派 Reductionism & Diversity Concrete, Concrete Group	歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 具体派、具体派、アンフォルメル Surrealism & Diversity Concrete, Concrete Group, Anti-Form
歴史 1980-84 脱前衛 具体派のアンフォルメルと 日本がアンフォルメル Trans-Avant-Garde The Japanese Avant-Garde	歴史 1985-94 再芸術 具体派のアンフォルメル 具体派のアンフォルメル Syncretism The Japanese Avant-Garde		
歴史 2010-14 抑圧前衛 アンフォルメルと具体派の 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde The Japanese Avant-Garde			

2b 九州派

(図版なし)

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体

2b 九州派

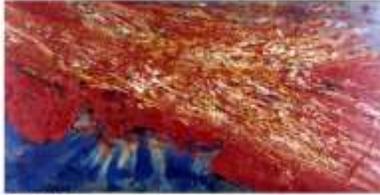
2c 前衛と地方性

2d アンフォルメル旋風

2e アンフォルメルと東洋

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-Art	多様性 Diversity	
歴史 1910s ヒューザン派と具体派 Hueizan School and Concrete	歴史 1920s 大正前衛美術派運動 Taisho Avant-Garde Art Movement	歴史 1930-40s マルティン・グリム ワシントン・アート・センター Martin Grimmer, Washington Art Center	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超戦後の表現形式 Surrealism & Diversity The Dawn of Postwar Art in Japan
Chapter 1955-59 前衛 具体、具体派、アンフォルメル Avant-Garde Concrete, Concrete School, Informel	Chapter 1960-63 反芸術 具体、反具体、反アート・センター Anti-Art Concrete, Anti-Concrete, Anti-Art Center	Chapter 1964-79 還元主義と多様性 6-80s、還元主義、具体派 Reductionism & Diversity 1960s, Conceptualism, Concrete	
Chapter 1980-84 脱前衛 80年代のアンフォルメルと具体 日本のアフターアップ Trans-Avant-Garde The Informel Aftermath	Chapter 1985-94 再誕芸術 具体ニュー・グループから 脱具体のニュー・グループへ Surrealism From Concrete New Groups to Post-Concrete New Groups	Chapter 1995-2009 マネリスムと多様性 現代美術、ニュー・グループ、アートのトップ Modernism & Diversity Contemporary Art, New Groups, Art's Top	
Chapter 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の復興と具体 反芸術と具体 Oppressive Avant-Garde Revival of Avant-Garde Art and Concrete Anti-Art and Concrete			

2c 前衛と地方性



今井俊満

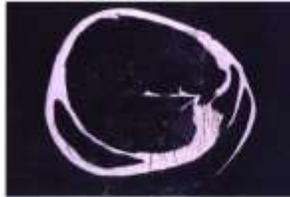
Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

- 2a 具体
- 2b 九州派
- 2c 前衛と地方性
- 2d アンフォルメル旋風
- 2e アンフォルメルと東洋

前衛 Avant-garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
Timeline 1910s ヒュアザン画派の成立 Hyuazan School and its Origin	Timeline 1920s 大正前期具体派運動 Taisho Period Concrete Movement	Timeline 1930-40s マニエリスム、 フォルシエリスム、具体派 Mannerism, Formalism, Concrete Manierismus, Formalismus, Konkretismus
Timeline 1955-59 前衛 具体、具体派、アンフォルメル Concrete, Concrete School, Informel	Timeline 1960-63 反芸術 具体、アナムニスト・アート・センター Concrete, Anamni-sto-art Center	Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 具体派の発展と変容 Surrealism & Diversity The Growth and Change of Concrete School
Timeline 1980-84 脱前衛 80年代のアンフォルメルと 日本がアフターワールド Trans-Avant-Garde The 1980s Informel and Japan's Afterworld	Timeline 1985-94 再誕芸術 具体ニューアヴァンギャルド 東京のニューアヴァンギャルド Concrete Neo-Avant-Garde Tokyo's Neo-Avant-Garde	Timeline 1964-79 還元主義と多様性 4-09、具体派、具体派 Reductionism & Diversity 4-09, Concrete School, Concrete School
Timeline 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の再興と 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde Revival of Avant-Garde Art and Anti-Artism		Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 具体派、ニューアヴァンギャルド、アートのアップデート Mannerism & Diversity Concrete School, Neo-Avant-Garde, Update of Art

2d アンフォルメル旋風



吉原治良



比田井南谷



不動茂弥

Chapter 2 1955-1959

前衛—具体、九州派、アンフォルメル

2a 具体

2b 九州派

2c 前衛と地方性

2d アンフォルメル旋風

2e アンフォルメルと東洋

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒューザン・ガード Human Guard / Vanguard	歴史 1920s 大正前衛派反芸術 Meiji Avant-Garde Anti-Art	歴史 1930-40s マニエリスム Manierism / Surrealism フレッシュ・アヴァンギャルド Fresh Avant-Garde
Chapter 1955-59 前衛 Avant-Garde / Anti-Art	Chapter 1960-63 反芸術 Anti-Art	Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 Surrealism & Diversity
Chapter 1980-84 脱前衛 Trans-Avant-Garde	Chapter 1985-94 再現芸術 Simulacrum	Chapter 1964-79 還元主義と多様性 Reductionism & Diversity
Chapter 2010-14 抑圧前衛 Oppressive Avant-Garde		Chapter 1995-2009 マニエリスムと多様性 Manierism & Diversity

2e アンフォルメルと東洋

Chapter 3
反芸術
ネオ・ダダとハイレッド・センター
Anti-Art
Neo Dada and Hi-Red Center

1960-1963

3a	ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ <small>Neo Dadaism Organizers</small>	38
3b	読売アンデパンダン展の廃止 <small>The Discontinuation of the Yomiuri Independent Exhibition</small>	39
3c	ハイレッド・センター <small>Hi-Red Center</small>	42
3d	日本のポップ・アート <small>Pop Art in Japan</small>	44
3e	ゼロ次元 <small>Zero Age</small>	58

Japan in 1968
1968: 日本は、ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ、読売独立展、1968-1969年読売アンデパンダン展。

Chapter 3 1960-1963
反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ
3b 読売アンデパンダン展の廃止
3c ハイレッド・センター
3d 日本のポップ・アート
3e ゼロ次元

前期 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
1910s <small>1910s 1910s ヒューマン主義者協会 Humanist Association of Artists</small>	1920s <small>1920s 1920s 大正美術青年会連盟 Daisho Museum of Fine Arts Federation</small>	1930-40s <small>1930-40s 1930-40s マルセル・ブリアール Marcel Brödiaire, 豊島屋 Toshimaya, Aoyama-ko Shigeo Fukuda, Aoyama-ko Shigeo Fukuda</small>
1955-59 <small>1955-59 1955-59 前期 読売、丸の内、アソシエーション Avant-Garde Yomiuri Association of Artists</small>	1960-63 <small>1960-63 1960-63 反芸術 ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ Neo Dadaism Organizers</small>	1945-54 <small>1945-54 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超現実主義者協会 Surrealism & Diversity The Association of Surrealist Artists of Japan</small>
1980-84 <small>1980-84 1980-84 読売前衛 読売アンデパンダン展と 日本がポップ・アート展 Yomiuri Avant-Garde Yomiuri Association of Artists</small>	1985-94 <small>1985-94 1985-94 再読芸術 読売ニューアート・フォーラム 読売インディペンデント・アート展 Surrealism Yomiuri Association of Artists</small>	1964-79 <small>1964-79 1964-79 還元主義と多様性 409、読売会、読売展 Reductionism & Diversity 409, Yomiuri Association, Yomiuri Exhibition</small>
2010-14 <small>2010-14 2010-14 押取前衛 アソシエーション・オブ・アーティスト 読売独立展 Expressive Avant-Garde Association of Artists Yomiuri Independent Exhibition</small>		1995-2009 <small>1995-2009 1995-2009 マネリスムと多様性 読売、読売、読売、読売、読売、読売 Manerism & Diversity Yomiuri Association of Artists</small>

Chapter 3 1960-1963
反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター



藤原有司男

三木富雄



荒川修作



吉村益信

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデバンダン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>Chapter 1 1910s ヒュアザイムとダダイスム Hyozaism and Dadaism</p>	<p>Chapter 2 1920s 大正前期美術界運動 Taisho Period Art Movement</p>	<p>Chapter 3 1930-40s マルティン・グリム ワシントン・展覧会、東京展 Martin Grimmer, AA The Empire</p>
<p>Chapter 4 1955-59 前衛 展覧会、大塚展、アソビとアソビ Avant-Garde Exhibitions, Otsuka Exhibition, Asobi and Asobi</p>	<p>Chapter 5 1960-63 反芸術 ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ Anti-art Neo-Dadaism Organizers</p>	<p>Chapter 6 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術の発展と変遷 Surrealism & Diversity The Post-war Development and Change of Japanese Art</p>
<p>Chapter 7 1980-84 脱前衛 1980年代のアンデバンダン展と 日本がデファクトである Trans-Avant-Garde The 1980s Avant-Garde</p>	<p>Chapter 8 1985-94 再興芸術 戦後ニュー・アヴァンギャルド 戦後ニュー・ダダイズム Revival Art Post-war Neo-Avant-Garde Post-war Neo-Dadaism</p>	<p>Chapter 9 1964-79 還元主義と多様性 6-406、現代美術、異文化 Reductionism & Diversity 6-406, Contemporary Art, Cross-Culture</p>
<p>Chapter 10 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の復興と変遷 Repression Avant-Garde The Revival and Change of Avant-Garde Art</p>		<p>Chapter 11 1995-2009 マネジリスムと多様性 戦後美術、ニュー・アヴァンギャルド、アートのポップ Managerism & Diversity Post-war Art, Neo-Avant-Garde, Pop Art</p>

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ



小島信明

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデパンダン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>Timeline 1910s ヒュアザン・ガード展 <small>Hyuazan Gards Exhibition</small></p>	<p>Timeline 1920s 大正美術展覧会 <small>Daishu Bijutsu Tenrankai</small></p>	<p>Timeline 1930-40s マニエリスム <small>Manierism</small></p>
<p>Timeline 1955-59 前衛 <small>Avant-Garde</small></p>	<p>Timeline 1960-63 反芸術 <small>Anti-art</small></p>	<p>Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small></p>
<p>Timeline 1980-84 脱前衛 <small>Trans-Avant-Garde</small></p>	<p>Timeline 1985-94 再脱芸術 <small>Re-anti-art</small></p>	<p>Timeline 1964-79 還元主義と多様性 <small>Reductionism & Diversity</small></p>
<p>Timeline 2010-14 抑圧前衛 <small>Oppressive Avant-Garde</small></p>		<p>Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>Manierism & Diversity</small></p>

3b 読売アンデパンダン展の廃止



中西夏之



高松次郎



福岡道雄

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデパンダン展の廃止

3c **ハイレッド・センター**

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>Chapter 1 1910s ヒューマンイズムと象徴主義 Humanism and Symbolism</p>	<p>Chapter 2 1920s 大正開港百年祭展覧会 Great Exhibition for the 100th Anniversary of the Opening of the Port of Yokohama</p>	<p>Chapter 3 1930-40s マルセル・ブリアール フビレ・ドゥ・ラ・グロワ、ダダ、シュルレアリスム Marcel Brönoir, Dada, Surrealism</p>
<p>Chapter 4 1945-54 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムの展覧会 Surrealism and Diversity The Exhibition of Surrealism in Japan</p>	<p>Chapter 5 1955-59 前衛 展覧会、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde The Exhibition of the Avant-Garde</p>	<p>Chapter 6 1964-79 還元主義と多様性 4-06、現代美術、日本美術 Reductionism & Diversity Modern Art, Contemporary Art, Japanese Art</p>
<p>Chapter 7 1980-84 脱前衛 1980年代のアンチ・システムと日本 Trans-Avant-Garde The Anti-System of the 1980s in Japan</p>	<p>Chapter 8 1985-94 再興芸術 構造主義、ニュー・アヴァンギャルド、 展覧会、インターメディアリズム Revival Art Structuralism, Neo-Avant-Garde, Exhibition, Intermedia</p>	<p>Chapter 9 1995-2009 マネジリスムと多様性 展覧会、ニュー・アヴァンギャルド、アートのポップ Manerism & Diversity The Exhibition of Neo-Avant-Garde, Pop Art</p>
<p>Chapter 10 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの再興と展覧会 展覧会と展覧会 Oppressive Avant-Garde The Revival of the Avant-Garde and Exhibition</p>		

3c ハイレッド・センター



中村宏



清水晃



多田美波



横尾忠則



亀倉雄策



草間彌生



篠田守男



吉仲太造



池田満寿夫



野田哲也



磯辺行久



立石大河亞



谷川晃一



村上善男

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデバン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
1910s ヒューマン主義と啓蒙 Humanism and Enlightenment	1920s 大正開港博覧会 Great Exhibition of the South Seas	1930-40s マニエリスム、プロレタリア美術、戦時画 Mannerism, Proletarian Art, War Painting
1955-59 前衛 展覧、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibition, Masses, Avant-Garde	1960-63 反芸術 展覧、大衆、ハイレッド・センター Anti-art Exhibition, Masses, Red Center	1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術展覧会 Surrealism & Diversity Post-war Art Exhibition
1980-84 脱前衛 展覧、大衆、アヴァンギャルド Trans-Avant-Garde Exhibition, Masses, Avant-Garde	1985-94 再反芸術 展覧、大衆、ハイレッド・センター Re-Anti-art Exhibition, Masses, Red Center	1964-79 還元主義と多様性 展覧、大衆、戦時画 Reductionism & Diversity Exhibition, Masses, War Painting
2010-14 抑収前衛 アヴァンギャルド美術展覧会 Repressive Avant-Garde Avant-garde Art Exhibition		1995-2009 マニエリスムと多様性 展覧、大衆、戦時画、プロレタリア美術 Mannerism & Diversity Exhibition, Masses, War Painting, Proletarian Art

3d 日本のポップ・アート

(図版なし)

Chapter 3 1960-1963

反芸術—ネオ・ダダとハイレッド・センター

3a ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ

3b 読売アンデバン展の廃止

3c ハイレッド・センター

3d 日本のポップ・アート

3e ゼロ次元

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity	
歴史 1910s ヒュアザン・グループ Hyozaan Group and others	歴史 1920s 大正美術展覧会運動 Taisho Museum Exhibition Movement	歴史 1930-40s マルティン・グロム Martin Gromm, 豊田道 Doi Michiomi, 豊田道 Doi Michiomi	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 Surrealism & Diversity The Road to Diversity Through Surrealism
歴史 1955-59 前衛 展覧会、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibitions, Masses, Avant-Garde	歴史 1960-63 反芸術 ハイレッド・センター Anti-art Haired Center	歴史 1964-79 還元主義と多様性 4-09、還元主義、多様性 Reductionism & Diversity 4-09, Reductionism, Diversity	
歴史 1980-84 脱前衛 80年代のアンデバン展と 日本がデフォック展 Trans-Avant-Garde The 1980s Avant-Garde and Japan's Defocus Exhibition	歴史 1985-94 再脱芸術 脱脱アート・フォーラム 脱脱アート・フォーラム Gendai Art Gendai Art	歴史 1995-2009 マネリスムと多様性 展覧会、マネリスム、多様性 Manerism & Diversity Exhibitions, Manerism, Diversity	
歴史 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの抑圧と 反芸術運動 Oppressive Avant-Garde The Oppression of Avant-Garde and Anti-art Movement			

3e ゼロ次元

Chapter 4
還元主義と多様性
もの派、概念派、美共闘
Reductionism & Diversity
(Mono-ha, Conceptualism, Mi-Kyūdō)

- 4a 日本概念派 (1) オブジェを消せ 12
Japanese Conceptualist (1) Get Rid of Objects
- 4b 日本概念派 (2) トリック・オブ・ヴィジョン 14
Japanese Conceptualist (2) Trick and Vision
- 4c もの派 16
Mono-ha
- 4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派 68
Mi-Kyūdō, Post-Conceptualist, Post-Mono-ha
- 4e 絵画回帰 64
Return to Painting

Japan in 1964
1964年10月1日、日本郵政、郵便物に「もの派」の絵画が貼られた。
On Oct. 1, 1964, Japanese postage stamps featured Mono-ha paintings.

Chapter 4 1964-1979
還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

- 4a 日本概念派(1)オブジェを消せ
- 4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン
- 4c もの派
- 4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派
- 4e 絵画回帰

前期 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity	
1910s 具象派 具象派、具象派、具象派 具象派、具象派、具象派 <small>具象派、具象派、具象派</small> 具象派、具象派、具象派 <small>具象派、具象派、具象派</small>	1920s 反芸術 反芸術 反芸術、反芸術、反芸術 反芸術、反芸術、反芸術 <small>反芸術、反芸術、反芸術</small> 反芸術、反芸術、反芸術 <small>反芸術、反芸術、反芸術</small>	1930-40s シュルレアリスム シュルレアリスム、シュルレアリスム シュルレアリスム、シュルレアリスム <small>シュルレアリスム、シュルレアリスム</small> シュルレアリスム、シュルレアリスム <small>シュルレアリスム、シュルレアリスム</small>	1945-54 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 <small>シュルレアリスムと多様性</small> シュルレアリスムと多様性 <small>シュルレアリスムと多様性</small>
1955-59 前期 前期、前期、前期 前期、前期、前期 <small>前期、前期、前期</small> 前期、前期、前期 <small>前期、前期、前期</small>	1960-63 反芸術 反芸術 反芸術、反芸術、反芸術 反芸術、反芸術、反芸術 <small>反芸術、反芸術、反芸術</small> 反芸術、反芸術、反芸術 <small>反芸術、反芸術、反芸術</small>	1964-79 還元主義と多様性 還元主義と多様性 還元主義と多様性 <small>還元主義と多様性</small> 還元主義と多様性 <small>還元主義と多様性</small>	
1980-84 後前期 後前期、後前期、後前期 後前期、後前期、後前期 <small>後前期、後前期、後前期</small> 後前期、後前期、後前期 <small>後前期、後前期、後前期</small>	1985-94 再概念派 再概念派 再概念派、再概念派、再概念派 再概念派、再概念派、再概念派 <small>再概念派、再概念派、再概念派</small> 再概念派、再概念派、再概念派 <small>再概念派、再概念派、再概念派</small>	1995-2009 マネエリスムと多様性 マネエリスムと多様性 マネエリスムと多様性 <small>マネエリスムと多様性</small> マネエリスムと多様性 <small>マネエリスムと多様性</small>	
2010-14 抑返前期 抑返前期 抑返前期、抑返前期、抑返前期 抑返前期、抑返前期、抑返前期 <small>抑返前期、抑返前期、抑返前期</small> 抑返前期、抑返前期、抑返前期 <small>抑返前期、抑返前期、抑返前期</small>			

Chapter 4 1964-1979
還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘



松澤岩

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c もの派

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

前期 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>Timeline 1910s シュアーズの登場 Shoars' Success and Failure</p>	<p>Timeline 1920s 大正期前衛美術運動 Taisho Avant-Garde Art Movement</p>	<p>Timeline 1930-40s マルセル・ブリアール ブリス・オットー、シュルレアリスム Marcel Brönoir, Brice Otho, Surrealism</p>
<p>Timeline 1955-59 前衛 芸術、文化、アートの未来 Avant-Garde Art, Culture, and Future</p>	<p>Timeline 1960-63 反芸術 芸術、文化、アートの未来 Anti-Art Art, Culture, and Future</p>	<p>Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムの発展 Surrealism & Diversity Development of Surrealism</p>
<p>Timeline 1980-84 脱前衛 80年代の芸術家たち Trans-Avant-Garde The Artists of the 80s</p>	<p>Timeline 1985-94 再概念派 概念アート、アート、文化 Reconceptualism Conceptual Art, Art, Culture</p>	<p>Timeline 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualism, Beauty Struggle</p>
<p>Timeline 2010-14 抑圧前衛 アートの未来、芸術家たち Expansive Avant-Garde The Future of Art, Artists</p>		<p>Timeline 1995-2009 マネジリスムと多様性 現代美術、アート、文化 Managerialism & Diversity Contemporary Art, Culture</p>

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ



柏原えつとむ



河口龍夫

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c もの派

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>Chapter 1 1910s ヒュアザイムと事象派 Hyozaism and Situationists</p>	<p>Chapter 2 1920s 本道美術界派運動 Honcho Bijutsukaiha Eisei Undō</p>	<p>Chapter 3 1930-40s マルクスアリスム、 プロレタリア美術、美共闘 Marxist Artism, Proletarian Art, Mei Kyū Tō</p>
<p>Chapter 4 1955-59 前衛 芸術、美術、アソシエーション Avant-Garde Art, Artism, Association</p>	<p>Chapter 5 1960-63 反芸術 美術、アート、イベント、パフォーマンス Anti-Art Art, Artism, Event, Performance</p>	<p>Chapter 6 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超現実主義運動 Surrealism & Diversity Supernaturalism Movement</p>
<p>Chapter 7 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと 日本アヴァンギャルド派 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Japanese Avant-Garde</p>	<p>Chapter 8 1985-94 再現芸術 模倣、ニューアヴァンギャルド 複製、インターネット、ビデオアート Simulation Mimesis, Neo-Avant-Garde, Copy, Internet, Video Art</p>	<p>Chapter 9 1964-79 還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualism, Mei Kyū Tō</p>
<p>Chapter 10 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の再評価と 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde Re-evaluation of Avant-Garde Art and Anti-Artism</p>		<p>Chapter 11 1995-2009 マネジリスムと多様性 模倣、インターネット、アートのトップ Management & Diversity Copy, Internet, Art's Top</p>

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン



関根伸夫



李禹煥



榎倉康二



齋藤義重



小清水漸



菅木志雄



高山登

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c **もの派**

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒュアザン・シュタム French Cubism and Dadaism	歴史 1920s 本誌開創時特集展 Museum of Modern Art in New York (1929)	歴史 1930-40s マックス・エルンスト、マルセル・ブリューン、ジャコポ・ペンネ、アルマン、ジャン・テュソ、ジャン・コクトー Surrealism & Dadaism
歴史 1955-59 前衛 展覧、本誌、70年代の「もの派」 Avant-Garde (1955-1959)	歴史 1960-63 反芸術 本誌「アヴァンギャルド・アート・センター」 Anti-Art (1960-1963)	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 展覧会、本誌、本誌 Surrealism & Diversity (1945-1954)
歴史 1980-84 脱前衛 1980年代の「もの派」展覧会 Trans-Avant-Garde (1980-1984)	歴史 1985-94 再芸術論 展覧会、本誌、70年代の「もの派」 Neo-Avant-Garde (1985-1994)	歴史 1964-79 還元主義と多様性 本誌、本誌、本誌 Reductionism & Diversity (1964-1979)
歴史 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの再評価と本誌 Repressive Avant-Garde (2010-2014)		歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 展覧会、本誌、70年代の「もの派」 Mannerism & Diversity (1995-2009)

4c もの派



彦坂尚嘉



堀浩哉



戸谷成雄



若林壱



村岡三郎



遠藤利克



嶋剛



三島喜美代



伊藤公象

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

4c もの派

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

前期 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
Timeline 1910s ヒュアザン・アート <small>Hyuazan Art</small>	Timeline 1920s 本道美術展覧会 <small>Honcho Bijutsu Tenrankai</small>	Timeline 1930-40s マニエリスム <small>Manierism</small>
Timeline 1955-59 前衛 <small>Maikai</small>	Timeline 1960-63 反芸術 <small>Anti-Art</small>	Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small>
Timeline 1980-84 脱前衛 <small>Desu Maikai</small>	Timeline 1985-94 再現芸術 <small>Shuhen Geijutsu</small>	Timeline 1964-79 還元主義と多様性 <small>Reductionism & Diversity</small>
Timeline 2010-14 抑取前衛 <small>Yokuaku Maikai</small>		Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>Manierism & Diversity</small>

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派



宇佐美圭司



上田薫



辰野登恵子



山田正亮



諏訪直樹

Chapter 4 1964-1979

還元主義と多様性—もの派、概念派、美共闘

4a 日本概念派(1)オブジェを消せ

4b 日本概念派(2)トリックス・アンド・ヴィジョン

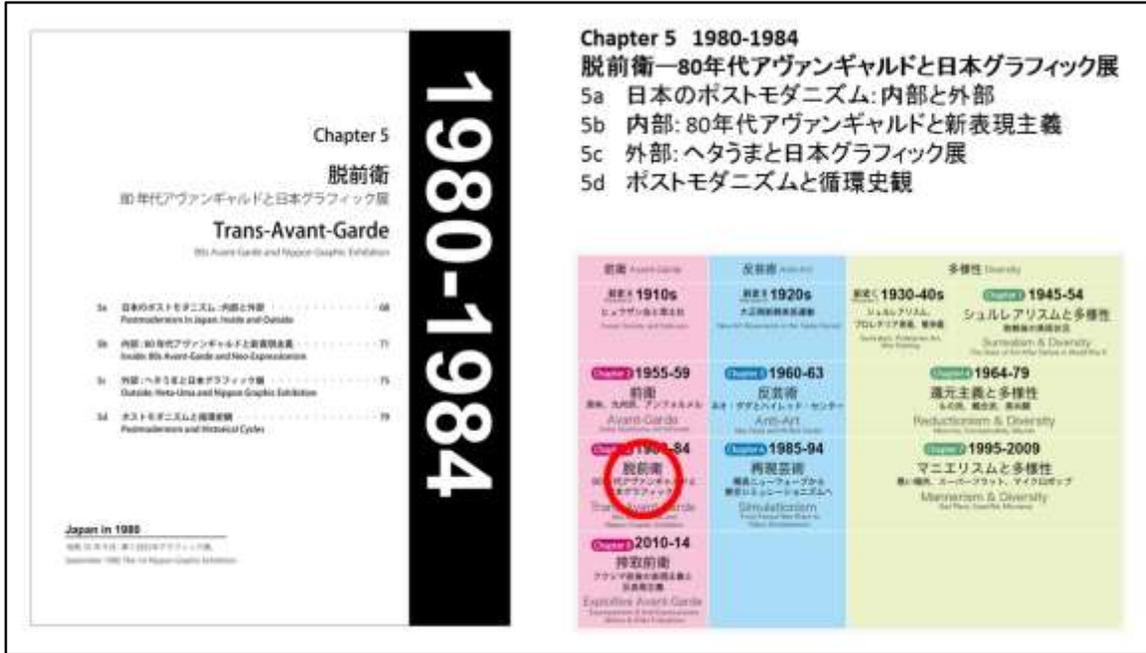
4c もの派

4d 美共闘、ポスト概念派、ポストもの派

4e 絵画回帰

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒュアザン・ド・ポワゾン <small>Hyuazan-do-Poison</small>	歴史 1920s 本誌 既成秩序の破壊 <small>Journal: Destruction of the Existing Order</small>	歴史 1930-40s マニエリスム、 フォトリグラフ、 絵画 <small>Manierism, Photography, Painting</small>
歴史 1945-54 前衛 具体、 具体、 アソシエーション <small>Avant-Garde</small> <small>Concrete, Concrete, Association</small>	歴史 1960-63 反芸術 本誌: アソシエーション・オブ・アーティスト <small>Anti-Art</small> <small>Journal: Association of Artists</small>	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 既成秩序の破壊 <small>Surrealism & Diversity</small> <small>Destruction of the Existing Order</small>
歴史 1955-59 前衛 具体、 具体、 アソシエーション <small>Avant-Garde</small> <small>Concrete, Concrete, Association</small>	歴史 1960-63 反芸術 本誌: アソシエーション・オブ・アーティスト <small>Anti-Art</small> <small>Journal: Association of Artists</small>	歴史 1964-79 還元主義と多様性 本誌: 既成秩序の破壊 <small>Reductionism & Diversity</small> <small>Journal: Destruction of the Existing Order</small>
歴史 1980-84 既成派 既成派の再評価 <small>Trans-Avant-Garde</small> <small>Re-evaluation of the Existing Order</small>	歴史 1985-94 再芸術派 既成派の再評価 <small>Re-art</small> <small>Re-evaluation of the Existing Order</small>	歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 既成派、 コーレクティブ、 アートのトップ <small>Manierism & Diversity</small> <small>Journal: Top of Art</small>
歴史 2010-14 既成派 アソシエーション・オブ・アーティスト <small>Re-art</small> <small>Association of Artists</small>		

4e 絵画回帰



Chapter 5 1980-1984
 脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

(図版なし)

Chapter 5 1980-1984

脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

5d ポストモダニズムと循環史観

前衛 Avant-Garde	反前衛 Anti-Avant	多様性 Diversity	
歴史 1910s シュヴァンソンと草土社 Futura, Futurisme, and Futurism	歴史 1920s 本誌開創と新表現主義 Nihonjin Magazine and New Expressionism	歴史 1930-40s マルセル・ブリアール、 プロレタリア美術、戦時書 Marcel Brönoir, Proletarian Art, War Propaganda	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術の展開と変遷 Surrealism & Diversity The Post-War Japanese Period of World War II
歴史 1955-59 前衛 展覧、本誌、アヴァンギャルド Avant-Garde Exhibitions, Magazine, and Futurism	歴史 1960-63 反前衛 本誌「アヴァンギャルド」の中心 Anti-Avant The Post-War Japanese Period	歴史 1964-79 還元主義と多様性 60年代、戦後美術 Reductionism & Diversity 1960s, Post-War Japanese Period	
歴史 1980-84 脱前衛 本誌「アヴァンギャルド」の中心 脱前衛グラフィック The Avant-Garde Exhibitions, Magazine	歴史 1985-94 再前衛 戦後ニューアヴァンギャルド 戦後ニューアヴァンギャルド Neo-Avant-Garde The Post-War Japanese Period	歴史 1995-2009 マネリスムと多様性 戦後美術、ニューアヴァンギャルド、アートのサブジャンル Modernism & Diversity The Post-War Japanese Period	
歴史 2010-14 抑前衛 アヴァンギャルド美術の展開と変遷 Expressive Avant-Garde The Post-War Japanese Period			

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部



川俣正



大竹伸朗



吉澤美香



中村一美

Chapter 5 1980-1984

脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

5d ポストモダニズムと循環史観

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒューザン画と草子誌 <small>From Huzar's Art to Grass</small>	歴史 1920s 大正前期美術家運動 <small>Meiji Period Movement of the Tokyo Group</small>	歴史 1930-40s マニエリスム、 フォトグラフィック、 蒙太ジ <small>Manierism, Photographic, Montage</small>
歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small> <small>The Birth of New Age Thought in World War II</small>	歴史 1955-59 前衛 <small>Avant-Garde</small> <small>From Huzar's Art to Grass</small>	歴史 1964-79 還元主義と多様性 <small>Reductionism & Diversity</small> <small>From Huzar's Art to Grass</small>
歴史 1980-84 脱前衛 <small>Expostion of Avant-Garde</small> <small>The Birth of New Age Thought</small>	歴史 1960-63 反芸術 <small>Anti-Art</small> <small>From Huzar's Art to Grass</small>	歴史 1985-2009 マニエリスムと多様性 <small>Manierism & Diversity</small> <small>The Birth of New Age Thought</small>
歴史 2010-14 脱前衛 <small>Expostion of Avant-Garde</small> <small>The Birth of New Age Thought</small>	歴史 1985-94 再表現主義 <small>Re-expressionism</small> <small>The Birth of New Age Thought</small>	

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義



スージー甘金



湯村輝彦



太田豊一



日比野克彦

Chapter 5 1980-1984

脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部

5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

5d ポストモダニズムと循環史観

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-Art	多様性 Diversity
1910s 脱前衛 1910s ヒューマン主義と前衛主義 Humanism and Avant-Garde	1920s 脱前衛 1920s 本主義前衛主義運動 Nationalist Avant-Garde Movement	1930-40s マニエリスム、プロレタリア美術、戦時美術 Mannerism, Proletarian Art, War Art 多様性 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦時後の表現主義 Surrealism & Diversity Postwar Expressionism
1955-59 前衛 脱前衛、丸山、アヴァンギャルド Avant-Garde Postwar Avant-Garde	1960-63 反芸術 脱前衛、丸山、アヴァンギャルド、モノクローム Anti-Art Postwar Avant-Garde, Monochrome	1964-79 還元主義と多様性 丸山、脱前衛、反芸術 Reductionism & Diversity Monochrome, Postwar, Anti-Art
1980-84 脱前衛 脱前衛、丸山、アヴァンギャルド、モノクローム、反芸術 Postwar Avant-Garde Monochrome, Anti-Art	1985-94 再表現主義 脱前衛、丸山、アヴァンギャルド、モノクローム、反芸術 Syncretism Postwar Avant-Garde, Monochrome, Anti-Art	1995-2009 マニエリスムと多様性 丸山、脱前衛、モノクローム、アヴァンギャルド Mannerism & Diversity Monochrome, Postwar, Avant-Garde
2010-14 脱前衛 アヴァンギャルド、脱前衛、反芸術 Postwar Avant-Garde Avant-Garde, Postwar, Anti-Art		

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

(図版なし)

Chapter 5 1980-1984

脱前衛—80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展

5a 日本のポストモダニズム: 内部と外部

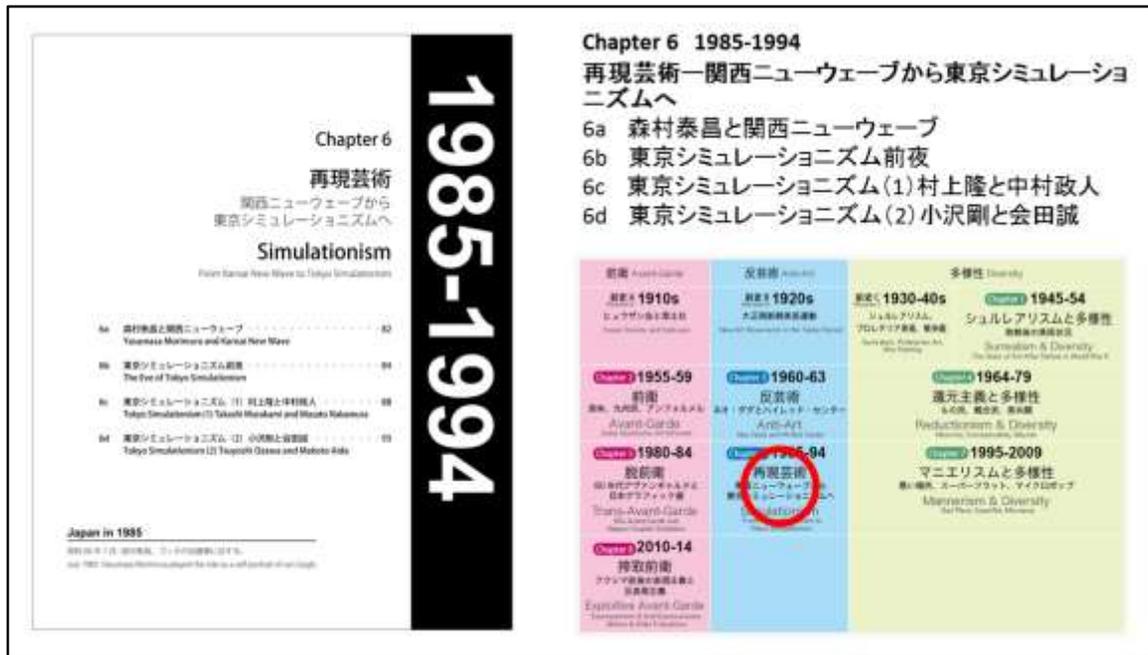
5b 内部: 80年代アヴァンギャルドと新表現主義

5c 外部: ヘタうまと日本グラフィック展

5d **ポストモダニズムと循環史観**

前衛 Avant-Garde	反前衛 Anti-art	多様性 Diversity	
歴史 1910s ヒューザン派と前衛派 Huezan School and Avant-Garde	歴史 1920s 大正前衛派の運動 Taisho Avant-Garde Movement	歴史 1930-40s マルティン・グリム、 ワシントン・グレース、 ジャック・ポントラス、 ジャック・ポントラス、 ジャック・ポントラス	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性
歴史 1955-59 前衛 前衛、丸山、アヴァンギャルド Avant-Garde Avant-Garde, Maruyama, Avant-Garde	歴史 1960-63 反前衛 反前衛、アヴァンギャルド・センター Anti-Art Anti-Art, Avant-Garde Center	歴史 1964-79 還元主義と多様性 還元主義と多様性 還元主義と多様性 還元主義と多様性	
歴史 1980-84 脱前衛 脱前衛、アヴァンギャルド The Avant-Garde The Avant-Garde, Avant-Garde	歴史 1985-94 再前衛 再前衛、ニューアヴァンギャルド Surrealism Surrealism, Neo-Avant-Garde	歴史 1995-2009 マネリスムと多様性 マネリスムと多様性、アートのサブ Manerism & Diversity Manerism & Diversity, Art's Sub	
歴史 2010-14 抑前衛 抑前衛、アヴァンギャルド Expressive Avant-Garde Expressive Avant-Garde, Avant-Garde			

5d ポストモダニズムと循環史観



Chapter 6 1985-1994
 再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションニズムへ



森村泰昌



石原友明



中ハシクシゲ

Chapter 6 1985-1994

再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションズムへ

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ

6b 東京シミュレーションズム前夜

6c 東京シミュレーションズム(1)村上隆と中村政人

6d 東京シミュレーションズム(2)小沢剛と会田誠

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-Art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒューザン画と彫刻家 <small>Humanism and Sculptor</small>	歴史 1920s 大正前期美術家運動 <small>Meiji Period Movement in the Tokyo Region</small>	歴史 1930-40s マニエリスム、 フォレシエリウム、 戦時美術 <small>Manierism, Foliesherism, War Art</small>
1955-59 前衛 具体、丸岡、アソビとカネメ Avant-Garde <small>Concrete, Maruoka, Asobi and Kaname</small>	1960-63 反芸術 具体、アソビとカネメ、 アート・アート Anti-Art <small>Concrete, Asobi and Kaname, Art and Art</small>	1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術家運動 Surrealism & Diversity <small>Postwar Movement in the Tokyo Region</small>
1980-84 脱前衛 80年代シミュレーションズムと 日本グラフィック Trans-Avant-Garde <small>Post-avant-garde</small>	1985-94 再現芸術 東京シミュレーションズム 東京シミュレーションズムへ Simulation <small>Tokyo Simulation</small>	1964-79 還元主義と多様性 4-09、 現代美術、 現代美術 Reductionism & Diversity <small>Modernism, Contemporary Art, Modernism</small>
2010-14 抑圧前衛 アラビア海軍の表現主義 表現主義 Oppressive Avant-Garde <small>Expressionism of the Arab Navy</small>		1995-2009 マニエリスムと多様性 戦後美術、 コーレオグラフィック、 アートはポップ Manierism & Diversity <small>Postwar Art, Choreography, Art is Pop</small>

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ



宮島達男

Chapter 6 1985-1994

再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションニズムへ

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ

6b 東京シミュレーションニズム前夜

6c 東京シミュレーションニズム(1)村上隆と中村政人

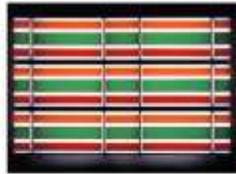
6d 東京シミュレーションニズム(2)小沢剛と会田誠

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
Chapter 1910s ヒュアザン画と彫刻家 Hyuazan Gaku no Kakeishi	Chapter 1920s 大正前期美術家運動 Taisho Koki no Gaku no Undou	Chapter 1930-40s マニエリスム、 フォトリグラフ、 写真書 Manierism, Photographs, Photo Books
Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術家運動 Surrealism & Diversity The Post-war Art Movement in Japan	Chapter 1955-59 前衛 美術、大衆、70年代の美術 Avant-Garde Art, Mass, Art of the 70s	Chapter 1964-79 還元主義と多様性 4-09、 現代美術、 日本美術 Reductionism & Diversity Modern Art, Contemporary Art, Japanese Art
Chapter 1980-84 脱前衛 80年代のポストモダニズムと 日本がアートブック Post-Avant-Garde The Post-modernism of the 80s and Japanese Art Books	Chapter 1985-94 再現芸術 東京ニューウェーブと 東京シミュレーションニズムへ Reproduction Art Tokyo New Wave and Tokyo Simulationism	Chapter 1995-2009 マニエリスムと多様性 戦後美術、 コーレクティブアート、 アートのウェブ Manierism & Diversity Post-war Art, Collective Art, Art on the Web
Chapter 2010-14 抑圧前衛 アラビア美術の復興と 日本美術 Oppressive Avant-Garde Revival of Arab Art and Japanese Art		

6b 東京シミュレーションニズム前夜



村上隆



中村政人



福田美蘭



柳幸典



笠原恵実子

Chapter 6 1985-1994

再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレーションニズムへ

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ

6b 東京シミュレーションニズム前夜

6c 東京シミュレーションニズム(1)村上隆と中村政人

6d 東京シミュレーションニズム(2)小沢剛と会田誠

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-Art	多様性 Diversity
<p>歴史 1910s ヒューザン画と草土社 Huzar School and Kutsukai</p> <p>1955-59 前衛 具体、丸根、アソビとカネル Avant-Garde Concrete, Maruoka, Asobi and Kaneru</p> <p>1980-84 脱前衛 80年代のファンタジックと日本がアットホーム Trans-Avant-Garde Fantasy and Japan's At-Home in the 1980s</p> <p>2010-14 抑取前衛 アットホームの脱構築と反芸術主義 Expropriate Avant-Garde Deconstruction of At-Home and Anti-Art</p>	<p>歴史 1920s 大正前期の反芸術運動 Taisho Period Movement of Anti-Art</p> <p>1960-63 反芸術 具体、アソビとハイムランド・センター Anti-Art Concrete, Asobi and Heimland-Center</p> <p>1985-94 再現芸術 村上隆とニューウェーブ、中村政人とシミュレーションニズム Reproduction Art Murakami and New Wave, Nakamura and Simulationism</p>	<p>1930-40s マルセル・アリスム、フジシマの学術、豊田通 Marcel Alesism, Fujishima's Academic, Toyotomi Tsunetsugu</p> <p>1945-54 シュルレアリスムと多様性 脱前衛の脱構築 Surrealism & Diversity Deconstruction of Post-Avant-Garde</p> <p>1964-79 還元主義と多様性 4-09、渡辺美津、高木繁 Reductionism & Diversity Hatakeyama, Watanabe, Takahashi</p> <p>1995-2009 マネエリスムと多様性 村上隆、小沢剛・フワット、アイトロ・ロベツ Mimesis & Diversity Murakami, Oze, Fwatto, Aitoro, Robetsu</p>

6c 東京シミュレーションニズム(1)村上隆と中村政人



小沢剛



会田誠

Chapter 6 1985-1994

再現芸術—関西ニューウェーブから東京シミュレシ
ニズムへ

6a 森村泰昌と関西ニューウェーブ

6b 東京シミュレシニズム前夜

6c 東京シミュレシニズム(1)村上隆と中村政人

6d 東京シミュレシニズム(2)小沢剛と会田誠

前期 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>歴史 1910s シュアザン画と彫刻家 Shuzaan Painting and Sculptors</p> <p>1955-59 前期 芸術、大衆、アヴァンギャルド Avant-Garde Art, Masses, and Avant-Garde</p> <p>1980-84 脱前期 90年代のアンチシステムと 日本がアフター Trans-Avant-Garde The Anti-System of the 90s Japan After</p> <p>2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの抑圧と 反芸術主義 Oppressive Avant-Garde The Oppression of Avant-Garde and Anti-Art</p>	<p>歴史 1920s 大正前期の反芸術運動 Taisho Period Movement of Anti-Art</p> <p>1960-63 反芸術 芸術 / アヴァンギャルド / センサー Anti-Art Art / Avant-Garde / Sensor</p> <p>1985-94 再現芸術 東京ニューウェーブから 東京シミュレシニズムへ Reproduction Art Tokyo New Wave Tokyo Simulacrum</p>	<p>歴史 1930-40s マルクス主義、 プロレタリア美術、戦時畫 Marxism, Proletarian Art, War Painting</p> <p>1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦後美術運動 Surrealism & Diversity The Post-War Art Movement</p> <p>1964-79 還元主義と多様性 60年代、戦後畫 Reductionism & Diversity 1960s, Post-War Painting</p> <p>1995-2009 マネリスムと多様性 戦後美術、ニューウェーブ、アートのウェブ Modernism & Diversity Post-War Painting, New Wave, Art's Web</p>

6d 東京シミュレシニズム(2)小沢剛と会田誠

Chapter 7
マニエリスムと多様性
悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ
Mannerism & Diversity
Bad Place, Superflat, Micropop

7a	権威主義とマニエリスム Hedonism and Mannerism	108
7b	ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会 Modernity, Studio Shokudo, The Group 1960	104
7c	悪い場所、スーパーフラット、方法 Bad Place, Superflat, Method	106
7d	美と価値とインフラ Beauty, Value and the Infrastructure	118
7e	マイクロポップ、美術内美術、チンポム Micropop, Inside Art, Chin-Pom	113

Japan in 1995
平成7年10月、東京国立近代美術館で開催された「悪い場所」展
March 1995: Hedonism by Kenji Saito, ed. by the Emperor's Household

1995-2009

Chapter 7 1995-2009
マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

7a 快楽主義とマニエリスム
7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会
7c 悪い場所、スーパーフラット、方法
7d 美と価値とインフラ
7e マイクロポップ、美術内美術、チンポム

<p>前期 Avant-Garde</p> <p>1910s ヒューマン主義とモダニズム Humanism and Modernism</p> <p>1955-59 前期 芸術、文化、アヴァンギャルド Avant-Garde The Avant-Garde in Japan</p> <p>1980-84 後前期 80年代アヴァンギャルドと日本アヴァンギャルド Trans-Avant-Garde The Avant-Garde in Japan</p> <p>2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルドの抑圧と表現 Expansive Avant-Garde The Expansion of Avant-Garde in Japan</p>	<p>反芸術 Anti-art</p> <p>1920s 大正前期の反芸術運動 The First Movement of Anti-Art in Japan</p> <p>1960-63 反芸術 反社会、反文化、反アート Anti-Art The First Movement of Anti-Art in Japan</p> <p>1985-94 再誕芸術 戦後ニューアヴァンギャルド 戦後インディペンデント・アート Revivalism The First Movement of Anti-Art in Japan</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>1930-40s シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦時美術 Surrealism, Proletarian Art, War Art</p> <p>1945-54 シュルレアリスムと多様性 戦時美術の復興と発展 Surrealism & Diversity The First Movement of Anti-Art in Japan</p> <p>1964-79 還元主義と多様性 60年代、戦後美術 Reductionism & Diversity The First Movement of Anti-Art in Japan</p> <p>1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity The First Movement of Anti-Art in Japan</p>
---	---	--

Chapter 7 1995-2009
マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ



奈良美智



小川信治



山口晃



鴻池朋子



蛭川実花



できやよい



川島秀明



天明屋尚



小谷元彦



宮永愛子

Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

7a 快樂主義とマニエリスム

7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会

7c 悪い場所、スーパーフラット、方法

7d 美と価値とインフラ

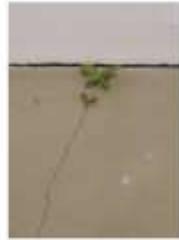
7e マイクロポップ、美術内美術、チンポム

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
Timeline 1910s ヒューマン主義と啓蒙主義 <small>Humanism and Enlightenment</small>	Timeline 1920s 大正開港期後派運動 <small>Shōwa Kaikōkai Kōha Undō</small>	Timeline 1930-40s マニエリスム、プロレタリア美術、戦時畫 <small>Mannerism, Proletarian Art, War Paintings</small>
Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism and Diversity</small> <small>The Road to Knowledge Through a World War II</small>	Timeline 1955-59 前衛 <small>Avant-Garde</small> <small>激進、丸の内、フジテレビビル</small> <small>Radical, Marunouchi, Fuji TV Building</small>	Timeline 1964-79 還元主義と多様性 <small>4-09, 鎌倉画、高木画</small> <small>Reductionism & Diversity</small> <small>Hiyama, Kamakura, Takagi</small>
Timeline 1980-84 脱前衛 <small>脱前衛、アール・ヌーヴ、日本グラフィック展</small> <small>Trans-Avant-Garde</small> <small>Off-Avant-Garde, Art Nouveau, Japan Graphic Exhibition</small>	Timeline 1985-94 再現芸術 <small>複製、ニュー・アヴァンギャルド、東京レトリック・ショー・オブ・アート</small> <small>Simulationism</small> <small>Reproduction, Neo-Avant-Garde, Tokyo Rhetoric Show of Art</small>	Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ</small> <small>Mannerism & Diversity</small> <small>Bad Place, Superflat, Micropop</small>
Timeline 2010-14 抑収前衛 <small>アヴァンギャルド美術の再発見と再評価</small> <small>Expansive Avant-Garde</small> <small>Rediscovery and Re-evaluation of Avant-Garde Art</small>		

7a 快樂主義とマニエリスム



杉戸洋



須田悦弘



木村太陽

Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

7a 快楽主義とマニエリスム

7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会

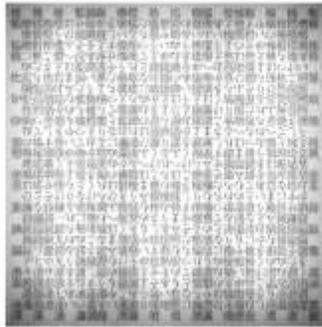
7c 悪い場所、スーパーフラット、方法

7d 美と価値とインフラ

7e マイクロポップ、美術内美術、チンポム

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
Timeline 1910s ヒュアザン画会と学生社 Hyuazan Gakai and Seigaku-sha	Timeline 1920s 大正画壇美術家連盟 Daito Gadan Bijutsu Ka Renmei	Timeline 1930-40s マニエリスム、 フロシオリア主義、 豊楽道 Manierism, Florio-ryuism, Toyokami-do (Shigeo Fukuda, Akira Yamamoto, etc.)
Timeline 1955-59 前衛 豊楽、大塚、アソビとカネ Avant-Garde Toyokami, Utsunomiya, Asobi to Kane	Timeline 1960-63 反芸術 赤井、アサヒバウトリアーセンター Anti-Art Akai, Asahi Boutrya Center	Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 豊楽道美術家連盟 Surrealism & Diversity Toyokami-do Bijutsu Ka Renmei
Timeline 1980-84 脱前衛 昭和年代アソビとカネとカネ 日本アソビとカネ Trans-Avant-Garde Showa Jidai Asobi to Kane to Kane Nihon Asobi to Kane	Timeline 1985-94 再誕芸術 豊楽道ニューアソビとカネ 豊楽道ニューアソビとカネ Renaissance Toyokami-do New Asobi to Kane	Timeline 1964-79 還元主義と多様性 4-09、豊楽道、豊楽道 Reductionism & Diversity 4-09, Toyokami-do, Toyokami-do
Timeline 2010-14 抑取前衛 アソビとカネ美術家連盟 抑取前衛 Asobi to Kane Bijutsu Ka Renmei Oppressive Avant-Garde		Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、 マイクロポップ Manierism & Diversity Bad Place, Superflat, Micro-pop

7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会



中ザワヒデキ

Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

- 7a 快楽主義とマニエリスム
- 7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会
- 7c **悪い場所、スーパーフラット、方法**
- 7d 美と価値とインフラ
- 7e マイクロポップ、美術内美術、チンゴボム

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>Timeline 1910s ヒューズ・ガードと学生社 Hewes Guards and Student Society</p>	<p>Timeline 1920s 大正美術界の反芸術 Taisho Movement in the Tokyo Region</p>	<p>Timeline 1930-40s マルセル・ブリアール、フジシタリチ子、豊田道太郎、阿部浩二、阿部知二 Marcel Brödeur, Fujishita Ritsuko, Toyonari Michitaro, Abe Hiroshi, Abe Chichiro</p>
<p>Timeline 1955-59 前衛 芸術、丸山、アヴァンギャルド Avant-Garde Art, Maruyama, Avant-Garde</p>	<p>Timeline 1960-63 反芸術 美術「アヴァンギャルド」センター Anti-Art Art Center "Avant-Garde"</p>	<p>Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスム派 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスム派 Surrealism & Diversity Surrealism Movement</p>
<p>Timeline 1980-84 脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本アヴァンギャルド Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Japanese Avant-Garde</p>	<p>Timeline 1985-94 再芸術論 構造主義・ポストモダン 構造主義・ポストモダン 再芸術論 構造主義・ポストモダン 再芸術論 構造主義・ポストモダン Re-art Structuralism & Postmodernism Re-art Structuralism & Postmodernism</p>	<p>Timeline 1964-79 還元主義と多様性 4-09、渡辺美津子、高橋繁雄 Reductionism & Diversity Hasegawa, Watanabe, Takahashi</p>
<p>Timeline 2010-14 抑圧前衛 アヴァンギャルド美術の抑圧と表現 Epressive Avant-Garde Suppression of Avant-Garde Art and Expression</p>		<p>Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Manierism & Diversity Bad Places, Superflat, Micropop</p>

7c 悪い場所、スーパーフラット、方法

(図版なし)

Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

7a 快樂主義とマニエリスム

7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会

7c 悪い場所、スーパーフラット、方法

7d 美と価値とインフラ

7e マイクロポップ、美術内美術、チンゴボム

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
Chapter 1910s ヒューマン主義と前衛 Humanism and Modernism	Chapter 1920s 大正開港期美術運動 Taisho Movement in the Tokyo Region	Chapter 1930-40s マルセル・ブリアール、 プロレタリア美術、戦時画 Marcel Brönoir, War Art Chapter 1945-54 シュルレアリスムと多様性 超戦後の表現方法 Surrealism & Diversity The Post-war Art Scene in Japan
Chapter 1955-59 前衛 展覧、丸の内、7/27の暴動 Avant-Garde Exhibitions, Marunouchi, 7/27 Riots	Chapter 1960-63 反芸術 赤井、アサヒバウトリアーセンター Anti-Art Akai, Asahi Boutsria Center	Chapter 1964-79 還元主義と多様性 6/40、現代美術、日本画 Reductionism & Diversity 6/40, Contemporary Art, Japanese Painting
Chapter 1980-84 脱前衛 80年代のアンチ・システムと 日本がデフォルメする Trans-Avant-Garde The Anti-system of the 80s Japan's Deformation	Chapter 1985-94 再現芸術 横濱ニューアート・フォーラム 東京のニュー・シーン・オブ・アート Simulation Yokohama New Art Forum Tokyo's New Scene of Art	Chapter 1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、 マイクロポップ Manierism & Diversity Bad Places, Superflat, Micro-pop
Chapter 2010-14 抑圧前衛 アケラア展覧会と表現方法 表現方法論 Oppressive Avant-Garde Akeru Exhibition and Artistic Methods Artistic Methods		

7d 美と価値とインフラ



Chim↑Pom



名和晃平

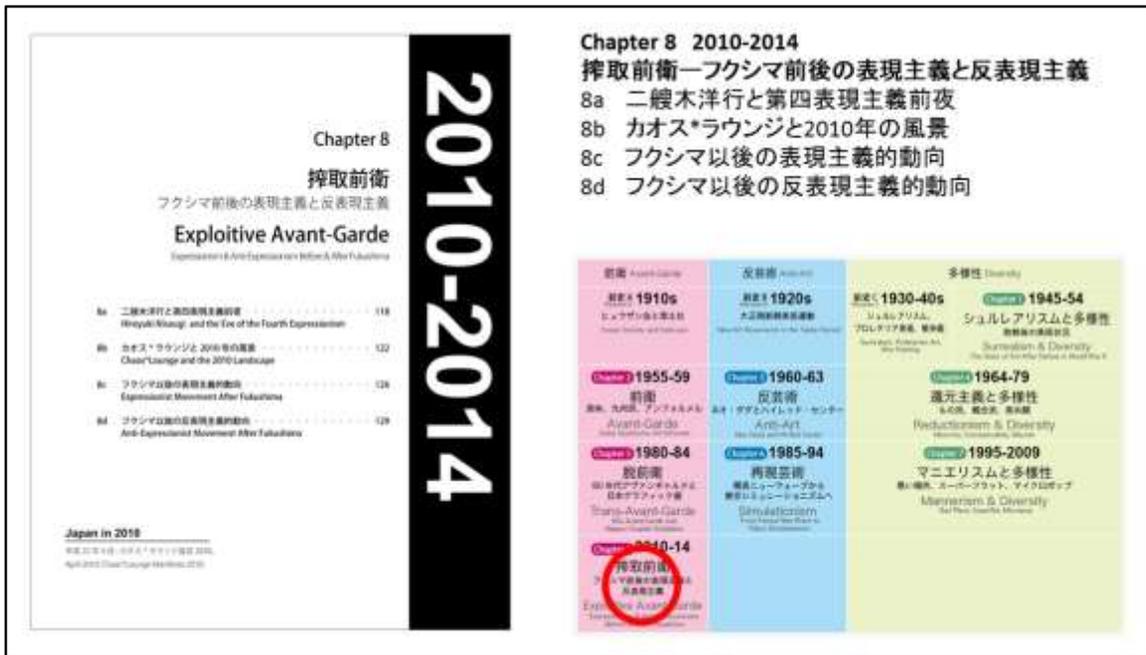
Chapter 7 1995-2009

マニエリスムと多様性—悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ

- 7a 快楽主義とマニエリスム
- 7b ひそやか系、スタジオ食堂、昭和40年会
- 7c 悪い場所、スーパーフラット、方法
- 7d 美と価値とインフラ
- 7e **マイクロポップ、美術内美術、チン↑ポム**

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
<p>1910s ヒューマンイズムと啓蒙主義 Humanism and Enlightenment</p>	<p>1920s 大正美術運動 Taisho Movement in the Visual Field</p>	<p>1930-40s マルクス主義、プロレタリア美術、戦時体制 Marxism, Proletarian Art, War Period</p>
<p>1945-54 シュルレアリスムと多様性 シュルレアリスムと多様性 戦時体制と戦後社会 Surrealism & Diversity The State of Knowledge Before & After War</p>	<p>1955-59 前衛 芸術、文化、アヴァンギャルド Avant-Garde Art, Culture, and the Avant-Garde</p>	<p>1964-79 還元主義と多様性 60年代、現代主義、反芸術 Reductionism & Diversity 1960s, Modernism, Anti-art</p>
<p>1980-84 脱前衛 80年代のポストモダニズムと日本がポストモダン Trans-Avant-Garde The Post-Avant-Garde</p>	<p>1985-94 再誕芸術 戦後ニッポン・アート・ビジュアル・カルチャー Surrealism Post-War Japan: Art & Visual Culture</p>	<p>1995-2009 マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Manierism & Diversity Bad Places, Superflat, Micropop</p>
<p>2010-14 抑圧前衛 ポストモダニズムの再評価と再構築 Expansive Avant-Garde Re-evaluation of Postmodernism and its Re-formation</p>		

7e マイクロポップ、美術内美術、チン↑ポム



Chapter 8 2010-2014
 搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義



二艘木洋行

Chapter 8 2010-2014

搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜

8b カオス*ラウンジと2010年の風景

8c フクシマ以後の表現主義的動向

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

前衛 Avant-Garde	反前衛 Anti-Avant	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒューザン・シュルレアリスム <small>French Surrealism and Dadaism</small>	歴史 1920s 本主義的表現主義運動 <small>Modernist Movement in the United States</small>	歴史 1930-40s マニエリスム、 フォルムリズム、 抽象主義、 具体主義 <small>Formalism, Abstractionism, Concrete Art</small>
歴史 1945-54 前衛 具体、 具体派、 アヴァン・ギャルド <small>Concrete Art, Gutai, Japanese Avant-Garde</small>	歴史 1960-63 反前衛 具体、 アヴァン・ギャルド、 アート・アート <small>Concrete Art, Japanese Avant-Garde, Art Art</small>	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 具体派の表現主義 <small>Surrealism & Diversity The Road to Knowledge Through a World of Concrete Art</small>
歴史 1955-59 前衛 具体、 具体派、 アヴァン・ギャルド <small>Concrete Art, Gutai, Japanese Avant-Garde</small>	歴史 1960-63 反前衛 具体、 アヴァン・ギャルド、 アート・アート <small>Concrete Art, Japanese Avant-Garde, Art Art</small>	歴史 1964-79 還元主義と多様性 具体派、 具体主義、 具体派 <small>Reductionism & Diversity Concrete Art, Concrete Art, Concrete Art</small>
歴史 1980-84 脱前衛 具体派の表現主義と 日本アヴァン・ギャルド <small>Trans-Avant-Garde The Japanese Avant-Garde</small>	歴史 1985-94 再現芸術 具体派の表現主義と 日本アヴァン・ギャルド <small>Simulation The Japanese Avant-Garde</small>	歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 具体派、 具体主義、 具体派 <small>Manierism & Diversity The Road to Knowledge Through a World of Concrete Art</small>
歴史 2010-14 搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と 反表現主義 <small>Exploitation Avant-Garde The Road to Knowledge Through a World of Concrete Art</small>		

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜



藤城睦



梅沢和木



都築潤



斎藤祐平

Chapter 8 2010-2014

搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜

8b **カオス*ラウンジと2010年の風景**

8c フクシマ以後の表現主義的動向

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

前衛 Avant-garde	反表現 Anti-art	多様性 Diversity
1910s ヒューマン主義と象徴主義 Humanism and Symbolism	1920s 本主義的表現主義運動 Nationalist Expressionist Movement	1930-40s マニエリスム、 フォルム主義、象徴主義 Mannerism, Formalism, Symbolism
1945-54 前衛 象徴、本主義、フォルム主義 Avant-Garde Symbolism, Nationalism, Formalism	1955-59 反表現 象徴、本主義、フォルム主義 Anti-Art Symbolism, Nationalism, Formalism	1945-54 シュルレアリスムと多様性 象徴主義の表現主義 Surrealism & Diversity Symbolist Expressionism
1960-63 反表現 象徴、本主義、フォルム主義 Anti-Art Symbolism, Nationalism, Formalism	1964-79 還元主義と多様性 象徴主義、本主義 Reductionism & Diversity Symbolism, Nationalism	1964-79 還元主義と多様性 象徴主義、本主義 Reductionism & Diversity Symbolism, Nationalism
1980-84 脱前衛 象徴主義、本主義、フォルム主義 Post-Avant-Garde Symbolism, Nationalism, Formalism	1985-94 再現芸術 象徴主義、本主義、フォルム主義 Simulacrum Symbolism, Nationalism, Formalism	1995-2009 マニエリスムと多様性 象徴主義、本主義、フォルム主義 Mannerism & Diversity Symbolism, Nationalism, Formalism
2010-14 搾取前衛 マニエリスムと多様性 象徴主義、本主義、フォルム主義 Exploitative Avant-Garde Mannerism & Diversity Symbolism, Nationalism, Formalism		

8b カオス*ラウンジと2010年の風景



あおいうに



内田百合香

Chapter 8 2010-2014

搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜

8b カオス*ラウンジと2010年の風景

8c フクシマ以後の表現主義的動向

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

前衛 Avant-Garde	反前衛 Anti-Avant	多様性 Diversity
Timeline 1910s ヒューマン主義と象徴主義 <small>Humanism and Symbolism</small>	Timeline 1920s 本道美術界の反動 <small>Reaction Movement in the Tokyo Art World</small>	Timeline 1930-40s マニエリスム、 フォルム主義、象徴主義 <small>Stylism, Formalism, Symbolism</small>
Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism and Diversity</small> <small>The Road to Knowledge Through a World War II</small>	Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism and Diversity</small> <small>The Road to Knowledge Through a World War II</small>	Timeline 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism and Diversity</small> <small>The Road to Knowledge Through a World War II</small>
Timeline 1955-59 前衛 <small>Avant-Garde</small> <small>Avant-Garde</small>	Timeline 1960-63 反前衛 <small>Anti-Art</small> <small>Anti-Art</small>	Timeline 1964-79 還元主義と多様性 <small>Reductionism and Diversity</small> <small>Reductionism and Diversity</small>
Timeline 1980-84 脱前衛 <small>Trans-Avant-Garde</small> <small>Trans-Avant-Garde</small>	Timeline 1985-94 再現芸術 <small>Simulationism</small> <small>Simulationism</small>	Timeline 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>Stylism and Diversity</small> <small>Stylism and Diversity</small>
Timeline 2010-14 搾取前衛 <small>Exploitation Avant-Garde</small> <small>Exploitation Avant-Garde</small>		

8c フクシマ以後の表現主義的動向



高橋大輔



竹内広太

Chapter 8 2010-2014

搾取前衛—フクシマ前後の表現主義と反表現主義

8a 二艘木洋行と第四表現主義前夜

8b カオス*ラウンジと2010年の風景

8c フクシマ以後の表現主義的動向

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

前衛 Avant-Garde	反芸術 Anti-art	多様性 Diversity
歴史 1910s ヒューザン画と彫刻家 <small>Henry Thoreau and Sculptors</small>	歴史 1920s 本と彫刻家展覧会 <small>Books and Sculptors Exhibition</small>	歴史 1930-40s マルセル・ブリューン、フーシキの彫刻、彫刻家 <small>Marcel Brnois, Fushiki's Sculpture, Sculptors</small>
歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small> <small>戦後美術展覧会</small>	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small> <small>戦後美術展覧会</small>	歴史 1945-54 シュルレアリスムと多様性 <small>Surrealism & Diversity</small> <small>戦後美術展覧会</small>
歴史 1955-59 前衛 <small>Avant-Garde</small> <small>彫刻、本、彫刻、フクシマの彫刻</small>	歴史 1960-63 反芸術 <small>Anti-Art</small> <small>本、フクシマの彫刻、彫刻家</small>	歴史 1964-79 還元主義と多様性 <small>Reductionism & Diversity</small> <small>彫刻、本、彫刻</small>
歴史 1980-84 脱前衛 <small>Trans-Avant-Garde</small> <small>彫刻、本、彫刻、フクシマの彫刻</small>	歴史 1985-94 再現芸術 <small>Simulation</small> <small>彫刻、本、彫刻、フクシマの彫刻</small>	歴史 1995-2009 マニエリスムと多様性 <small>Mannerism & Diversity</small> <small>彫刻、本、彫刻、フクシマの彫刻</small>
歴史 2010-14 搾取前衛 <small>Exploitation Avant-Garde</small> <small>彫刻、本、彫刻、フクシマの彫刻</small>		

8d フクシマ以後の反表現主義的動向

大急ぎでの閲覧おつかれさまでした。
あとは最後に2つほど話します。

大急ぎでの閲覧おつかれさまでした。
あとは最後に2つほど話します。

<p>前衛 Avant-Garde</p> <p>前史 A 1910s History A ヒューザン會と草土社 Husei Society and Koso-ka</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p> <p>前史 B 1920s History B 大正期前衛美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>前史 C 1930-40s History C シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>
<p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 具体、九州派、アンフォルメル Avant-Garde Goke, Kyushu-ka, Art Informel</p>	<p>Chapter 3 1960-63</p> <p>反芸術 ネオ・ダダとハイレッド・センター Anti-Art Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 敗戦後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Nippon Graphic Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p>
<p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>		<p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>

この表を出しながらお話ししますが、12月に黒瀬陽平さんと五反田にあるゲンロンで対談した際、東浩紀さんがこの表を面白がってくれて素晴らしい指摘をしてくださいました。それは、この表が弁証法に見えるということでした。

<p>前衛 Avant-Garde</p> <p>前史A 1910s</p> <p>ヒューザンと草土社 Guzen Society of Tokyo-ya</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p> <p>前史B 1920s</p> <p>大正期新興美術運動 New Art Movements in the Taisho Period</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>前史C 1930-40s</p> <p>シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p>
<p>Chapter 1 1955-59</p> <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1950s Japanese Avant-Garde Art Movement</p>	<p>Chapter 2 1960-63</p> <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>ネオ・ダダとハイレッド・センター Neo-Dada and Hi-Red Center</p>	<p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde 80s Avant-Garde and Japanese Graphic Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p>
<p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>		<p>Chapter 3 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>

すなわちピンクの前衛がテーゼ(正)、

<p>前衛 Avant-Garde</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p>	<p>多様性 Diversity</p>
<p>Chapter 1 1910s</p> <p>ヒューゲンと草土社 Huegen, Sohma, Kuroki, Koga</p>	<p>Chapter 1 1910s</p> <p>正統期前衛美術運動 New Avant-Garde in the Pre-War Period</p>	<p>前史 1930-40s FIGURE 1</p> <p>シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争画 Surrealism, Proletarian Art, War Painting</p> <p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスムと多様性 戦後後の美術状況 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1950s Japanese Avant-Garde Art Movement</p>	<p>Chapter 2 1955-63</p> <p>反芸術 Anti-Art</p> <p>1950s-60s Anti-Art and Post-Modernism</p>	<p>Chapter 4 1964-79</p> <p>還元主義と多様性 もの派、概念派、美共闘 Reductionism & Diversity Mono-ha, Conceptualists, Beauty</p>
<p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde</p> <p>80s Avant-Garde and Japanese Graphics Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism</p> <p>From Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 3 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity Bad Place, Superflat, Micropop</p>
<p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde</p> <p>Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>		

続く青の反芸術がアンチテーゼ(反)、

<p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1910s</p> <p>ヒューザンと草土社 Guzen Society of Tokyo-Soja</p>	<p>反芸術 Anti-Art</p> <p>1920s</p> <p>正統期前衛美術運動 New Avant-Garde in the Tokyo Period</p>	<p>多様性 Diversity</p> <p>Chapter 1 1945-54</p> <p>シュルレアリスム、プロレタリア美術、戦争 Surrealism, Proletarian War Painting</p> <p>シュルレアリスムと多様性 Surrealism & Diversity The State of Art After Defeat in World War II</p>
<p>Chapter 2 1955-59</p> <p>前衛 Avant-Garde</p> <p>1960s Japanese Avant-Garde</p>	<p>Chapter 3 1963</p> <p>反前衛 Anti-Art</p> <p>1960s Neo-Dada and 19-Post-Expression</p>	<p>Chapter 4 1964-</p> <p>還元主義と多様性 Reductionism & Diversity</p> <p>1960s Minimalism, Conceptualism, Bayreuth</p>
<p>Chapter 5 1980-84</p> <p>脱前衛 80年代アヴァンギャルドと日本グラフィック展 Trans-Avant-Garde</p> <p>1980s Avant-Garde and Japanese Graphics Exhibition</p>	<p>Chapter 6 1985-94</p> <p>再現芸術 関西ニューウェーブから東京シミュレーションイズムへ Simulationism</p> <p>1980s Kansai New Wave to Tokyo Simulationism</p>	<p>Chapter 7 1995-2009</p> <p>マニエリスムと多様性 悪い場所、スーパーフラット、マイクロポップ Mannerism & Diversity</p> <p>1990s Bad Place, Superflat, Micropop</p>
<p>Chapter 8 2010-14</p> <p>搾取前衛 フクシマ前後の表現主義と反表現主義 Exploitive Avant-Garde</p> <p>2010s Expressionism & Anti-Expressionism Before & After Fukushima</p>		

そして緑の多様性がジーンテーゼ(合)なのではないかということです。これは、非常に良い示唆をいただいたと僕自身は思っています。

また、黒瀬さんは単純に、中ザワさんの美術史はけっきょく「良い」時代と「悪い」時代のふたつしかない、ピンクの前衛と青の反芸術が「良い」時代で、緑の多様性が「悪い」時代だと看破してくださいました。



これも僕は、著者としてははっきりとは自分から言い出しにくいことなのですが、まさしくその通りなわけです。

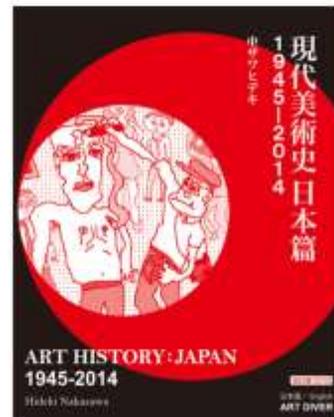
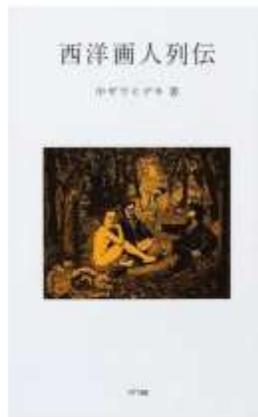


ただ、本書で繰り返されている僕自身の言い方としては、「前衛」と「反芸術」のふたつが「芸術のための芸術」、「多様性」の時代が「人生のための芸術」ということになります。僕自身の作品歴との関わりでいえば、前衛と反芸術の時代には時代を謳歌する作品を作っていました。それがヘタうまやバカCGだったわけです。反対に多様性の時代には時代に反抗する作品を作っていました。それが方法主義だったわけです。

次の話題です。

次が、最後の話題です。

- 【1】 近代美術史テキスト(1989)
【2】 西洋画人列伝(2001)



本書に先行する美術史の著作が二冊あり、それらの序文にすでに本書と同じ態度が示されているということです。



先に、2冊目の著書の「西洋画人列伝」の序文から見ていきます。

優れた美には、理念がある。理念の呈示には、必然がある。その必然を連ねたものが、歴史である。だから、美術史には美の普遍法則が顕現している。—「美術史は理論である」、これが、一見こまぎれの本書を背後から支える骨格である。

しかし、これでは最初から破綻をきたしていないとも限らない。歴史学における「歴史法則主義」は、個別に事象を見なくては真理が曇ってしまうとする「歴史主義」に、すでに批判されているのである。すなわち、普遍法則という物語が想定されること自体、欺瞞とされるのだ。

というふうに始まりますが、けっきょくは正しくはなくてもこういうベクトルを希求することはなされなければならないのではないかという立場で書かれているわけです。



そして最後に僕が26歳の時、25年前の1989年に書かれた最初の著作の『近代美術史テキスト』の序文です。

誰の言葉だったかすっかり忘れてしまいましたが、ある現代美術家が、「あなたが影響を受けた過去の美術家は？」と質問され、「……？？！！ 私は過去の美術家に影響を受けたのではない。私は過去の美術家に影響するのだ！」とのたまわったという話があります。いったいこれはどういう意味なのでしょう？

そもそも歴史とは何かと言いますと、それは過去の事実を受動的に記述する行為のことを指すのではなく、現在の目をもって、過去の本質を能動的に読み取る行為のことをいう筈です。

(中略)

要するに「現在の自分が歴史をつくる」ということが言いたかったのです。

(中略)

歴史とは、あるいはすべての人間の行為は、本来このように徹頭徹尾「現在の自分」から端を発するのだという視点に立って、本書を読んでいただければ幸甚です。

と書かれていますが、この考え方は51歳になった2014年の著作の時点でも基本的に変わっていなかったわけです。



現代美術史日本篇 1945-2014

ART HISTORY: JAPAN
1945-2014

25年前に放った矢が今日のこのシンポジウムまで議題として届いているということ
を述べさせていただいたうえで、たいへん長くなりましたが僕からの最初のパウ
プレンを終わらせていただきます。どうも、ありがとうございました。